

# MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 204  
【発行・編集】  
MASUKI 情報デスク  
増木直美  
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113  
TEL 090-3621-1509  
FAX 06-6835-0974  
http://mid.parfe.jp/  
mid@jewel.ocn.ne.jp

## ● 祝祭日には国旗を掲げましょう

# NHKから国民を守る党

もう一つの政党  
皆さんは「Nニエ」から国民を守る党(代表・立花孝志)を「存じだろっか」。

私は立花氏と旧知の仲なのでよく知っている。今から10年ほど前になるが、私はNニエの偏向報道反対の運動をかなり強力にやっていた。丁度そのころ立花氏は長年勤めたNニエを、「これでは国民のためにならぬ。Nニエを改革する」と退職し、「Nニエの受信料を払うのは止めよう。」と声を上げ始めた。私は『偏向報道の禁止。放送法を守れ』という主張。彼は、『Nニエを見ない人」まで受信料を取るのはおかしい。』と若干主張は違っていたが、共にNニエの糾弾は同じ。私は性格的にあまり細かいことは言わない。立花氏も全く同じ。妙に気があった。

彼は保守ではない。左翼でもない。しかし「一つの案件で意見を言いたい」とお前立派な保守やで「そんなかなー」ってな調子。彼は極めてクレバーな奴・・・ひょっとすると選挙を意識して、保守色は消していたのかも知れない。そして当初から政界進出を口にし、国会進出も口にしていた。当時の私の思いは「このホラ吹き野郎」。

彼の最初の選挙は確か大阪の摂津市。オシの愛車(ハイエース)とうちの居候(嫁さんの子分)を選挙カー、ウグイスとして持って行ってしまった。まっ、いいか。ところがあれよあれよで、現在全国に10名の市会議員を擁す政党の党首。年内に10名にすると豪語している。いや噂語ではなく予定だ。さて、昨日、兵庫県川西市で街頭演説会があった。同市から、「おつるさん」こと中曾千鶴子氏が10月の市議選で「Nニエから国民を守る党」

から出馬を検討している。彼女は女性ながらも日の丸の禪をしているような人。立花氏の政治信条は「私の理解だが」国民に被害を与えることは許さないと認をためらった(当たり前だけ)ようだが立花氏との行動を決断した。私は、「立花は細かいことは言わないから。貴女のいろいろな活動の軸足を置かせてもらったらいいんじゃないの。」と助言させてもらった。

立花氏の選挙は事務所、選挙力情報、意見を流しまくる。私の選挙は、堅牢な後援会を作ること。100度手法が違う。乱暴な言い方だが、「目的のためなら手段は選ばず。」も我々の意見の合うところ。立花氏は言つ、「後援会は皆お年寄りやろ。未来がないで。」そこを突かれると確かに弱い。オシは20年先を行っている。と立花氏は言う。そこで昨日の阪急川西駅前

の街頭演説(「ラマキ」)会の報告。私は2時間ほどいたが、武原尼崎市議を先頭に参加者10名ほどで、その間で配った「ラマキ」



1000枚。選挙がらみのピラは1時間で50枚が相場ところが川西ではひっきりなしに立花氏とのツーショット写真を撮りに来る。憎いことに、若い女性も多い。「なんでやー!」と思いつつ「ツーショットは有料ですが」などとジョークを飛ばし、その整理に汗だく。私の選挙人生30年。橋下さんや安倍さんは別にして、こんな光景見たことない。立花氏の政界進出戦略偉大なる社会実験。私と意見は違つが、研究する価値は十分あるのではないだろうか。特に若い人。先輩議員の後援会を若手に禅譲、時代錯誤かも。文責 増木(右より、立花、中曾、武原氏)

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会 (理事長、辻淳子大阪市会議員)」。2番艦が「英霊を被告にして委員会 (代表中村重行)」、3番艦が「憲法一条の会 (代表小野馨子)」。これらの団体に頂いたご意見等をM情報の責任で発信しています。

《M情報活動報告》編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

# 各自治体の議事録

東京都葛飾区区議会

平成30年第2回定例会6月12日

質問 鈴木信行議員

【冒頭あいさつ】・・・略

【拉致事件、朝鮮学校の補助金について】

我が国とは隣国である朝鮮半島が、我が国が近年に近く不安定で先行き不透明な政治状況になり混迷を深めている中で、我が国も無関係ではいられないとの認識は多くの区民の方々が共有しているのではないかと。本区の中にも朝鮮籍・韓国籍の方々が多く在住されている。これらの問題は、地域社会の問題と人権意識の両面から見据えながら慎重に考えていくことが肝要です。米朝と北朝鮮の首脳会談に向けて拉致問題解決への進展を目指す政府は、全国の自治体や教委などに、平成30年3月7日付で「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品の活用促進について」という通知を文部科学大臣と拉致問題担当大臣の連名で出している。また、文科省と拉致問題対策本部は教委に対して、映像作品を活用した場合、映画「めぐみ」「アキメ」「めぐみ」の活用状況の報告を要請しているほか、拉致問題の作文コンクールへの参加にも協力を求めています。北朝鮮による日本人に対する人権侵害事件である拉致問題を、事件解決まで風化させることなく、全面解決に向けて人権教育の重要課題としても学校教育の中で取り組むことが必要であると政府は求めている

が、本区ではいかなる取り組みを。

今年度から小学校で、来年度からは中学校で、道徳が教科として検定教科書を導入しての完全実施が始まる。6月1日から区内でも検定済みの道徳教科書の閲覧が始まり、各教科書をそれぞれ手にとることができた。人々を思いやる感動的な内容の教科書が幾つもあり、感情が込み上げ思わず見入ってしまった。児童・生徒にとって最良の教科書が採択され道徳教育が実施されること、児童・生徒の人権意識が向上することを期待している。葛飾区教育振興基本計画では、子供のよさを活かす教育の推進、互いの人格を尊重し合い、人権感覚を身につけた児童・生徒の育成を図りますと示されています。既に拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律が施行されてから年月が経過しています。未解決の重要課題である拉致問題を、本区も解決に向けて取り組むべきと考える。本区では、葛飾区外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱に基づき補助金を支給しています。平成30年度予算として681万の千円、1千万円近くの予算が計上されている。要綱に目を通すと、葛飾区の住民基本台帳に記載されている方、外国籍または外国籍と日本国籍の両方をお持ちの児童・生徒を外国人学校に就学させていること、外国人学校に就学している児童・生徒の授業料を納入していること、以上3点の要件を全て備えている保護者が対象であると記され、支給されている

という。私は、当選前の平成28年、一区民としてこの補助金に関して住民監査請求を起こすも却下された。本区が定める要綱そのものを直ちに否定するものではないが、大多数、約8割を占める朝鮮学校に通う児童・生徒保護者に対する支出は、来期以降、調査し見直すべきと改めて申し上げます。

朝鮮学校への補助金問題は、国連でも高校無償化問題と関連して取り上げられています。国連人種差別撤廃委員会云の我が国政府が朝鮮学校を高校無償化の対象外とすることが人権侵害ではないかとの指摘に対し、我が国政府は強く反論しています。国連人種差別撤廃委員会への我が国政府の報告書で、朝鮮学校への補助金停止は人権侵害に当たらない、正当なものであると堂々と主張しています。さらに、政府は、「教育基本法第16条第1項で禁じる「不当な支配」に当たらないこと等について十分な確証を得ることができず、法令に基づく学校の適正な運営という上述の本件規程第13条の指定基準に適合すると認めるに至らなかったため、不指定処分とした」と明確に反論しています。また同様に、我が国政府は、教育基本法で平等に教育を受ける機会が保障されているとの見解を示しています。この報告書を通して政府は、日本人児童・生徒と同様に無償で教育を受けることができ就学の機会の確保を図っている、したがって朝鮮学校に対して地方自治体から補助金が出ていない場合にも子供が在日朝鮮人であることを理由に教育を受ける権利が妨げられているものではないとしており、朝鮮学校に通学する在日朝鮮人の児童・生徒にも平等に公立学校に受け

入れるという選択肢を示しています。文科科学大臣名で「朝鮮学校に係る補助金交付に関する留意点について」という通知が平成28年3月29日付で発せられています。この通知では、政府見解が次のように示されています。「朝鮮学校に関しては、我が国政府としては、北朝鮮と密接な関係を有する団体である朝鮮総聯が、その教育を重要視し、教育内容、人事及び財政に影響を及ぼしているものと認識しております。ついては、各地方公共団体におかれては、朝鮮学校の運営に係る上記のような特性も考慮の上、朝鮮学校に通う子供に与える影響に十分十分に配慮しつつ、朝鮮学校に係る補助金の公益性、教育振興上の効果等に関する十分な御検討とともに、補助金の趣旨・目的に沿った適正かつ透明性のある執行の確保及び補助金の趣旨・目的に関する住民への情報提供の適切な実施」を要請するものとあります。本区では、朝鮮学校にのみ直接支給せず、学校を通して補助金を支給しています。この支給方法には大きな疑念があります。補助金が保護者や児童・生徒の手に渡っているか疑わしいということです。事実、神奈川県では、平成26年度の補助金を児童・生徒保護者に直接支給していましたが、支給された現金を朝鮮総聯下部組織が各自から寄附という形で回収していたという事件が神奈川県により判明しています。これは本来の児童・生徒保護者に対する補助金の趣旨に反する行為であり、許されません。また、この文科科学大臣の文書も北朝鮮の出先機関である朝鮮総聯の密接な影

響下にある朝鮮学校に対してであることから、拉致加害者という犯罪国家への資金援助になりかねない。さらに、大臣通知は、補助金の趣旨・目的に沿った適正かつ透明性のある執行の確保及び補助金の趣旨・目的に関する住民への情報提供の適切な実施を求めている。現在の葛飾区が外国人学校児童・生徒保護者への補助金が透明性のある形で執行されているか、そして補助金の趣旨・目的を広く周知するなど情報提供の必要はないのか。

以上のことを踏まえ、まず、拉致問題の啓発教育及び外国人学校について伺う。拉致問題は、北朝鮮による日本国家に対する主権侵害であると同時に日本人に対する重大な人権侵害事件にほかならないと考えるが本区の認識は、拉致問題への教育現場での取り組みについての現状と今後の取り組みについて伺います。あわせて、児童・生徒に啓発するためには教員への指導が重要と考えますが、現在どのようなようになされているのか、今後の方針も含めて具体的に伺いたしたい。

政府は、北朝鮮と密接な関係を有する団体である朝鮮総聯がその教育を重要視し、教育内容、人事及び財政に影響を及ぼしているとの見解を表明しています。こうした中、区では朝鮮学校の保護者に補助金を支出していますが、区としては朝鮮学校とはいかなる学校と考えているかご見解を伺います。

朝鮮学校保護者、児童・生徒への負担金補助及び交付金について伺います。神奈川県では、平成26年度の補助金を児童・生徒の保護者に直接支給していましたが、支給された現金を朝鮮

総聯下部組織がおののから回収していたという事件が県の調査で判明しています。本区では、朝鮮学校だけではなく児童・生徒保護者に直接支給ではなく学校を通して外国人学校児童・生徒保護者負担金補助及び交付金を支給しています。実際に朝鮮学校に支出された補助金が児童・生徒保護者の手に渡っているか、これまで調査していないと認識しています。提出された報告書だけではなく、調査についての見解を聞きたい。

平成28年3月29日付「朝鮮学校に係る補助金交付に関する留意点について」の文部科学大臣通知では、補助金の趣旨・目的に沿った適正かつ透明性のある執行の確保及び補助金の趣旨・目的に関する住民への情報提供の適切な実施を求めています。現在の葛飾区外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱が透明性のある執行がされているか、そして補助金の趣旨・目的を広く周知するなど情報提供の必要はないのか、大臣通知を受けて本区ではどのような取り組みをされているか、聞きたい。

#### No.177 青木克徳区長

北朝鮮当局により、1970年代から1980年代にかけて多くの日本人が拉致されました。現在、政府は17名の日本人を拉致被害者として認定しており、そのうち5名は平成14年10月に帰国が実現したが、他の被害者は現在も拉致されたままです。その他にも拉致の可能性を排除できない特定失踪者が数多く存在する。このことは、日本の主権に対する侵害であるとともに重大な人権侵害でもあると認識する。

#### No.179 杉立敏也学校教育担当部長

拉致問題については、東京都の人権課題に挙げられており、学校では道徳科において家族愛・家庭生活の充実の項目の中で拉致問題を取り上げ、拉致被害者及び家族の現状を知り、その悲しみや苦しみに共感させることを通じて人権を尊重する心情や態度を育てる学習を行うよう指導しております。また、中学校社会科の歴史分野においては、今後どのように隣国と向き合うことが求められているか話し合う教材として取り上げています。児童・生徒を啓発するための教員への指導については、全校へ配布しているDVD「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の人権教育プログラム」をもとにした道徳科の授業での活用や人権尊重教育推進校での授業公開、研修会を通して、積極的に人権教育の推進を図っております。教育委員会として、拉致問題は重大な人権侵害であるとの視点から、全校に人権教育の中で指導するよう徹底してまいります。

#### No.181 中田江地域振興部長

区においては、朝鮮学校を外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱で規定する外国人学校の一つであると認識しております。なお、ここで言う外国人学校とは、学校教育法第134条第2項の規定に基づき認可を受けた各種学校のうち外国人を対象として教育を行う学校で、同法で定める義務教育相当年齢の児童・生徒を教育する学校でございます。

次に、朝鮮学校に支出された補助金が児童・生徒保護者の手に渡っているかどうかの調査に関する質問にお答えします。朝鮮学校に通う児童・生徒の保護者への補助金につきましては、外国人学

校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱に基づいて事務処理を行っております。まず、学校長が代理人として交付申請を行い補助金を受領します。そして、各保護者に補助金が配布されたことを確認するため、保護者の受領印が押された明細書を添付した実績報告書を区に提出することを学校長に義務づけております。このように、同要綱に基づき適正に手続が行われていることを確認することにより、各保護者に適正に補助金が交付されていると認識しているものでございます。なお、個別具体的な問題が生じた場合などに対策を講じるものとして同要綱第10条に調査の規定があるが、いまだとおり、補助金は要綱にのっとり適正に交付されていることから、調査は実施しておりません。次に、文部科学大臣通知を受けての区の取り組みについて答える。

平成28年3月に、「朝鮮学校に係る補助金交付に関する留意点について」と題する国の通知を受け、区では直ちに、補助金の適正かつ透明性のある執行の確保や住民への適切な情報提供などについて確認いたしました。本事業は要綱に基づき適正に執行し事務監査を受けるとともに、毎年度、議会において予算の議決と決算の認定をいただいていることから、補助金の趣旨・目的に沿った適正かつ透明性のある執行は十分に確保できていると考えております。また、本事業の趣旨や目的について区公式ホームページで広く周知しており、住民に対する情報提供も適切に行われていると認識している。

# 各位。各団体等からの報告・ご意見

## 教育委員会傍聴報告 H30-8-11 葛飾区議 鈴木信行

午前10時から葛飾区役所内で教育委員会が開催され、平成31年度の葛飾区の中学校で使う道徳教科書が採択された。今年から道徳が特別の教科として正規科目になった。小学校では新しい教科書で教えている。中学校では来年度から使う道徳教科書の採択を行った。教育委員会サイトでは採択結果を掲載した。ところが「採択」と掲載されているが、教科書名が記載されていない。従って議論の詳細ともどもここでは記載しないでおく。

採択されたのは「J社」だった。教育委員会傍聴に出席した区議は、僕を含めて二人だけだ。左右両極の区議が教科書採択に関心があるということか。傍聴20人定員のところ、40名以上が集まり傍聴は抽選となった。鈴木は外れたが21番だったので一緒に行ったスタッフが辞退し繰り上げて傍聴券を手に入れた。

傍聴希望者の半数以上は鈴木とは思想を異にする政治勢力だろう。道徳教科書を気にしているのは左右両極ということかな。保守派はこういう現場には来ないね。左派は熱心に動員をかけて来る。先日の外務省意見交換会の場合も同じで圧倒される。弁護士団体、教

職員組合、NPOと左派政治勢力が集まる。国連の場合も同様で、工作をかけてくる。共産党は学び舎の教科書が採択されなくとも、全日本教職員組合員の先生に実際の教育現場で彼らの言うような理想教育への対応をさせるよ。鈴木信行は日本教科書を推薦している。因みに委員長は日本教科書に対して一言だが高評価を述べてくれた。日本教科書は晋遊舎と同じ住所で、晋遊舎は嫌韓本を多数出している頼もしい出版社だ。教育委員会の議論を見ていると、消去法で少しずつ除外されて行って、残った教科書が「J社」だった。

いじめ問題。小中連携。生命尊重。視点が明確か？ 内容が長くないか？ 記述欄があるが否か、分冊する？ ノートが増えるかなど。

最後に委員長が「J社でいいか」各委員が「異議なし」で議案が採択された。完了。

の月から始まった教科書採択作業は、調査委員会、検討委員会をへて8月10日の教育委員会の場に託された。結果は鈴木の見解とは違つた結果となった。どの教科書を採択するか。答えはすでに決まっていたのだらうけど、後で議事録を見れば分かりやすいほど、うまい議論の進め方だった。歴史教科書だともっと意見が出しやす。言いたいことがいっぱいあるからね。来年は教科書検定があり、再来年は歴史教科書の採択がありま

## 大阪桐蔭も外人部隊ではあるが…… 018.08.22 政経調査会 榎泰智

プロ野球には全く興味が無いんですけど。イイ歳こいたおとなが巨人とか阪神とかワーワー騒いでいるのが面白いのか全くわからん。でも学生野球はいいね。特に高校野球はいい。甲子園大会またその予選もいい。一回でも負けたらそれで終わり。この究極の状況で一球入魂に込める球児達の刹那に感動を覚える。夏の高校甲子園大会、大阪桐蔭が秋田の金足農業に圧勝で勝利して春秋連続優勝を飾ったが、私は当然、金足農業を応援していた。と言ってもリアルに中継を見ていたわけではないが、準決勝で東京から出た日大三高を破ったと言つてもあるが、秋田県立高校ということでは特別に予算を組む事も適わないであろう公立高校で、決勝戦まで来たと言つことに敬意を表したい。選手は全員が地元の子園大会が各都道府県からの代表校によって戦われている以上、当たり前前ととであるがこの当たり前が当たり前となつていないのが現実。以前は「外人部隊」という言い方をされていたが、私立高校では全国各地から有望な選手をスカウトしてきて特待生として授業料免除などの特典を与えて野球部で困っているケースがほとんど。優勝した大阪桐蔭をみてベンチ入りした18選手の中で大阪の中学校を出たのは5人だけ、その他13人の中で大阪以外の近畿地方が7人。佐賀県出身のエース柿木投手

を含め6人が近畿地方以外の全国各地から来ている。このような状況をして「外人部隊」と言ってきたが、今は野球以外の高校スポーツにおいては、本場の外人部隊が跳梁跋扈している。駅伝におけるケニアや、バスケットボールにおけるセネガルなど、見るからに「スポーツのためにアフリカから連れて来ました」感がアリアリ。これを批判すると外国人差別とかヘイトスピーチと言われそうだが、この状況が正常でない事は論を待たない。日本語も理解できない黒人を駅伝やバスケットをやらせるために連行して来ているようで、まさに現代の奴隷船といわざるを得ない。そんな中で福岡県の強豪高校バスケット部では黒人選手による暴行事件が勃発した。国内他県からの外人部隊はさておきとして、本場の外人部隊は高校も大学も全面的に「禁止」する方向で検討すべきである。

### 増木重夫

プロ野球は言うに及ばず高校野球など見る気もしない。所詮商業スポーツ。私立が勝つに決まっている。イヤ、予算のあるところが勝つに決まっている。日本中から有能選手を釣ってきて、ナイター設備で練習。遠征、合宿やり放題。その点、今回の金足農業はさすがにいい。金足は負けた。桐蔭のケタ外れの資金力に負けた。それだけ。いや金足が決勝まで勝ち進んだわけでもない。吉田君と言うスーパースター高校生がいた高校が勝ち進んだのだ。彼が銀手農林高校にいたらそこが勝つた。公立高校は先ず野球部とサッカー

部のじゃんけんが始まる。どっちがグ  
ラウンドを使うかだ。ナイター設備な  
ど夢の夢。公立高校の教頭の本音は、  
勝ち進んでくれるな。だれが選手たち  
の旅館代を掻き集めるんだ。でも勝っ  
てくれ。

高校野球をセ・パみたいに公立と私  
立に分ける。でなくば、公立にエロを。  
または選手は10年以上県内在住。遠  
征、合宿は年間100日以上、均一ルー  
ルでやらないと高校野球の意味がない。  
柔道やボクシングは体重制だ。野球は  
資金力制にしたらいい。

## 不登校は不幸では ない？

8-23 東京 佐藤和夫

今朝のZエヌニュースで不登校は不  
幸ではないと言つ特集をやっていた。  
我々の時代は団塊の世代で沢山の生徒  
がいたが不登校なんていなかった。基  
本的に学校が楽しかった。好きな子に  
会える。それだけでウキウキする。勉  
強も頑張った。

今や不登校は当たり前で自殺防止の  
為認めようと言つ流れ。不登校の原因  
を放置して不登校でも良いとしてしま  
うのか。不登校の理由を聞くと仲間が  
いない。面白くない。イジメもあるの  
だろう。昔は先生がガツンとやってく  
れていたことで秩序が保たれていた。  
そこに愛情があるので皆聞いて、親も  
ガツンと言ってくれると言つのが当たり  
前だった。

個人情報隠しているのもその子の  
本當の悩みが分からない。母親が働きに  
出ていて、家に帰っても親がいない。改  
革と言つた世の中が悪化の一途を辿っ  
ている。学校が全てとは言われないが発展  
途上国の子供達が長い通学距離をいそ  
いそと学校に通う。池間先生が途上国に  
学校を作るのは素晴らしい笑顔が見たい  
から。

時代が進めば発展するといふ錯覚。も  
う一度日本を洗濯しませんか。

どうしてこのようなアホなことを言  
うのだろう。不登校以上の不幸があるか  
なせ現実から逃げる。正面から向き合わ  
ない。不登校の原因はほとんどがいじめ  
やいじめもつき。仲間がいない。何故仲  
間がいない。不登校の連中、その周囲の  
人達「反省」と言つ言葉がない。なぜ  
仲間はずれにされるのだろう。そこを本  
人が考えない限り、永遠に仲間はずれに  
される。逃げることを許容するな。  
学校が楽しくない。楽しくする責任は  
どこにあるのだろう。教委？、校長？。  
違つただろう。生徒本人ではないか。

## 自衛隊OB、隠居生 活はまだ早い

H30-8-16 東京 佐藤和夫

西村真悟先生の激励会に田母神さん  
が参加され、お一人は靖国神社参拝をさ  
れない安倍総理に苦言を呈した。自衛隊  
を国軍にすべしという主張するこの激励  
会に自衛隊OBは私と犬伏大田区議

会議員だけ。自衛隊のOBの方は自衛  
隊違憲の論調の犠牲者。OBは現役の憲  
法を遵守する縛りから逃れ、今こそ現役  
世代の為に声を上げなければならぬ  
のこの体たらく。現役時代の政治的活  
動に與せずの習性がOBになつても  
抜けない。現役が政治的発言が封じられ  
ているからこそOBは発信すべきだ。  
自衛隊OBが声を上げれば日本は変わ  
る。隠居生活に入るのはまだ早い。

## 非論理の論理

H30-8-10 三澤 廣

<http://100ps.info/katudoukroku/nakan>  
a/H30-6-15nriawahirosi/top.htm

長嶋一茂氏が、テレビ朝日の羽鳥モ  
ニングショーで「セクハラの方が痴漢よ  
りひどい大犯罪」と発言して、物議を醸  
しています。こういう意見に賛成しそ  
うな(なんとなくそう思ったのですが)小  
林よしの氏がインタネットで、この発  
言を非難しているのが面白いと思いま  
した。小林氏の「ヒステリックな正義感」  
という言い方はなかなか気が利いてい  
たので感心しました。ただ、小林氏は、  
不倫した政治家が保守なら叩く、リハラ  
ルなら許す(あるいは「能力があれば許  
す」と言つヒステリックな正義感の持  
主ですから、まことに奇怪なねじれ現象  
を見ているようでした。頭の中が、クエ  
スチョンマークで一杯になってしま  
いました。

長嶋一茂氏は最近面白い発言が多  
かっただけに、本当にそんな単純なこ

とを言っているのかと不審に思つて  
調べてみたら、氏の言つ「セクハラ」  
はパワハラを含めた強圧的なものを  
言っているようでした。それならそれ  
で、若干話が違つて来るようですが、  
一般に「セクハラの方が痴漢よりひど  
い」と言われると、「そう言われれば  
そうだ」と思つてしまつ人も多いよう  
です。(因みに「そう言われればそ  
うだ」がマヌカミの

奴隷である情報弱者の常套句です)  
そういう人は、結局は、すぐに新しい  
ものに飛び付くタイプなのです。

ひところ、痴漢が女の敵として弾劾  
されてきました。そこで、女の味方を  
自認するオピニオンリーダーは、痴  
漢が最悪の犯罪であるかのように憤  
慨してみせたものでした。と云ふが、  
痴漢冤罪事件が相次ぎ、小遣い稼ぎに  
無実の人を罪に陥れる女子高校生が  
存在することが分かってきました。

「あんだの人生、五万円で救つてやる  
よ」と言われた男性もいるとのこと。  
そのせいで、痴漢について騒ぎ立てる  
のは世間受けしないようになってし  
まいました。そこにアメリカから  
NetToo運動が伝わってきたために、  
事実の証明の要らないセクハラに、女  
性の権利が大好きな人たちが飛び付  
いたというわけです。なにしろ、「女  
が不愉快だと思つたらそれだけでも  
セクハラだ」というのですから、罪刑  
法定主義も法的安定性もあつたもの  
ではありません。(犯罪ではないので、  
この言い方は問題があるかも知れま  
せんが)。

疑惑を受けた人の人権はどうなつ  
てしまうのでしょうか。少なくとも、

リベラル派がこれをおかしいと思わない方がおかしいのです。

よりひどい」というのは、流行語のセクハラの方がウケが狙えるからです。

かつての田中角栄氏の裁判は、適正手続きに問題があり、民主的裁判の原則に背馳しているという声が高かったのに、権力者を弾劾するためになら、そんなことはどうでもよいということになってしまいました。司法の独立を守った大津事件のときの大審院長・児島惟謙は地下で嘆いていることだったのでしよう。「不愉快だったらセクハラ」とは、その類の荒っぽい感情論なのです。一般論を言うならば、「セクハラの方が痴漢よりひどい」というのは、「窃盗の方が強盗よりひどい」、「傷害の方が殺人よりひどい」というようなものです。もっとも、一茂氏の本意(?)らしい、パワハラを含んだセクハラならば、これは本当に罪が重いというべきでしょう。私は、権力者の性犯罪として一番悪辣だったのは、「メディア」上りの府知事が自分の選挙運動を手伝ってくれている女性に、権力を背景に猥褻な行為を繰り返した事件だったと思っています。これは明らかに痴漢よりも罪が重いでしょう。

それにしても、性犯罪は女性をないがしろにするもので、男の行為の中で一番卑劣なものだということになっています。「性」が絡むと、男女を問わずに、みんなが興奮してしまうのが大騒ぎの原因だと私は思っています。

しかし、冷静に考えれば「こんなひどい女性にとっては、電車の中で臀部を撫でられるよりも、同じ電車の中でも、

与太者から、「このブス、モタモタするな」と怒鳴られる方がよっぽど不幸になるとは思いませんか。

初対面で権力関係がないとはいえず、暴力を背景にしているのですから、これこそ究極のパワハラではありませんか。人前で女性を罵る、あるいは暴力さえ揮うそういう事件もあります。しかし、そういう与太者は痴漢やセクハラほどには非難されないのです。福田財務次官も、米山新潟県知事も、性的な問題を起こしたために、社会的地位を棒に振ってしまった。どつらもそれほどの大問題を起こしたのだからかと私は首をかきげるのです。福田氏の場合は、政治的には反対派(反安倍)の小林よしのり氏が「福田氏よりテレビ朝日の方が悪い。この事件を安倍叩きに利用するな」と言っています。私もそう思います。

朝日が出たついでに言いますが、つい何か月前に、朝日新聞社の内部で、上司が部下の女性にセクハラをしたという週刊誌報道が出ましたが、どうして続報がないのでしょうか。どうして処分を受けたのでしょうか。

性が絡まなければ、パワハラは許されるのでしょうか。今、話題になっているのは、鹿児島県のリベラル派知事が、外国に行つて、現地の日本人との懇談会に出席したとき、旅行会社の添乗員の女性を、自分が知らないうち

に勝手に閉会にしたという口実で、怒鳴りつけたという事件です。しかも、女性の名前を呼び捨て(初対面に近い相手を呼び捨て!!!)にして、「誰が閉会にしていると言った」と大声で叱責したというのです。

女性は式の進行にかかわっていたわ

けではないので、全く身に覚えのないことで、いきなり言葉の暴力を受けたのです。女性にとってこれほどの侮辱はないでしょう。セクハラされたより、痴漢されたより、ずっと心の傷は大きいと思います。この三反園(みたまの)知事、原発反対を唱えて当選したのに、知事になったら、反対を撤回したという前科があります。その節操のなさは、もう一つ南の県の知事を連想させます。こういう人だからこういうことをしたのでしょいか。いずれにしても、三反園知事は福田次官より大きな罪を犯しています。

鹿児島県民はよく考えて下さい。女性ならば誰でもいいということはいくら減な人を当選させてしまった岐阜一区と愛知七区の有権者のように、ネットで馬鹿にされる存在になってもいいのですか。菅直人氏は、厚生大臣だったときに、エイズに関連して、厚生省の役人をテレビに映っている所で怒鳴りつけ、一躍人気者になりました。イケメンでもあったので、特に女性は、「国民のために怒ってくれているんだ」と感動してしまつたのです。しかし、菅氏は「イラ菅」というニックネームで知られるように、すぐに怒り出すことで有名です。

権力を笠に着て威張るのが趣味だという観測もあります。しかも、怒りっぱい人に共通の心理ですが、「ここで怒ればかっこいいだろうな」と計算するのです。テレビカメラの前だったのは、偶然ではなく、ちゃんと場所を選んだのです。福島の原発事故の現場に乗り込んで行ったときも、職員たちを怒鳴りつけました。国民もその何度も騙されたの

ことはありません。ここで怒鳴ったのが藪蛇になって、菅氏の政治生命が縮まり

始めたのです。この菅氏のパワハラは、厚生大臣のときから、当然問題視されなければいけなかったのに、マスコミが菅氏の味方だったために、看過されました。この人の行為もセクハラより悪いと思います。相手が男だから、三反園氏よりは罪が軽いでしょうか。でも、権力者が弱い立場の者をいじめたのですから、やっぱりセクハラと変わらないように思います。長嶋一茂氏がそこまで考えて、パワハラ含みのセクハラがひどいと言っているのなら、納得できますが、真意はどこにあったのでしょうか。

ところで、「セクハラの方が痴漢よりもひどい」という屁理窟、何かどこかで聞いたような非論理的論理だかなと思っていたら、思い出しました。かつて、「周囲の人が副流煙を吸って、間接喫煙(受動喫煙)で肺癌にかかる確率は、煙草を吸う人よりも高い」という話が大手を振って罷り通っていました。最初に聞いたとき、「なんでこんな理窟があるんだろう」と頭が痛くなりました。煙草を吸っている人は自分が吸いながら、副流煙も吸い込んでいるのですから、「直接禁煙と間接禁煙の両方」をしているのです。それがどうして、「間接禁煙だけ」の人よりも肺癌にかかる確率が低いということがあり得まじょう。

「セクハラの方が痴漢よりひどい」という理窟が成り立たないのと同じように、「間接禁煙の方が直接禁煙よりも害が大きい」という理窟は成り立ちません。

最近の報道によると、副流煙が原因と見られる肺癌発生率は、きわめて低

いとのこと。案の定、と私は嘆息。「喫煙に対して厳しい政策を取るべきだ」という意見には賛成です。父親の嗜好のために、妻と子が不快な匂いを受忍しなければならない道理はありません。しかし、だからと言って嘘の資料を出してはいけません。

また別の例を挙げましょう。ずいぶん昔ですが、朝日新聞の投書欄にこんな投書が載りました。

「うちの子は一学期は五十点を取って、通知表は3だった。二学期は八十点を取ったのに、通知表はやっぱり3だった。先生に抗議したら、『みんなが頑張ったから』という理由で、4や5は付けられなかったとのこと。生徒の努力を認めない教育はおかしいと思う」というのです。そして、この投書をもとに、朝日はひとしきり、努力を認める教育を、というキャンペーンを張ったのです。投書した主婦は本当にそう思ったのでしようが、キャンペーンを始めた記者や編集部(局?)は、慰安婦報道のときと同じように、こんな主張が荒唐無稽な理窟だということを理解してははずです。

もし、理解していなかったのならば、その知性はどうてい記事を書いたり、編輯に携わったりすることのできるレベルではありません。惘(あき)れるくらい単純な話ですが、八十点を取って3になったのは、みんなが頑張ったからではありません。ひたすら、問題が易しかったからです。その頃、天声人語で「みんなが百点を取れる授業を」という主張を読みました。みんなが百点を取れるようにする方法は一つだけあります。

難しい問題は一切出さなければいいのです。そして、朝日新聞はこのころ、「絶対評価を絶対評価に切り替える」と主張していました。この主婦の投書の朝日のキャンペーンを振り返っただけで、通知表は絶対に絶対評価にしてはいけないということが分かります。それって、誰にでも分かりそうな理窟なのに、朝日の偉い人たちが分からないというのは、分からないのではなく、分からない振りをしてるのです。日教組思想に染まっているからです。日教組はかつて、「秀才を作ってはいけない」というキャッチフレーズを作り出しました。成績に差が付くと、差別が発生するからだといいことです。日本人の学力を低下させようという陰謀があるのではないのでしょうか。中韓からの指令だとも言われますが、それはウラのウラを読み過ぎているのでしょうか。「絶対評価」の正体が分かったでしょう。主婦などは、絶対評価というのは「甘い点を付ける」という意味だと思っているのです。その頃、世論調査では絶対評価を支持する意見が多かったそうです。何も分かっている人たちの意見を聞いて、「この案の支持率が高いから」という理由で政策を決めるとなったら、それはポピュリスト社会です。

この非論理も、間接喫煙の方が直接喫煙より有害」というのに似ています。米空母ロナルド・レーガンの被曝の話もこの類です。福島救援のためのトモチ子作戦に参加したために、四百人以上が被曝して健康被害が生じたこと。しかし、乗組員は沖合に停泊した艦の中にいて、上陸さえしなかったのです。(海軍とは別の海兵隊員は上陸したそうですが)

福島の住民には一人も健康被害が出ていないのです。どうして、上陸もしなかったロナルド・レーガンの乗組員が癌や白血病にかかって、死者まで出るはずがありません。さすがは訴訟社会米国の軍人、金を取るためにならどんな嘘でもつこうというわけです。こんな荒唐無稽な話を信じる日本人もまた、反原発のためならどんな

非論理でも受け入れてしまつた人たちなのです。セクハラの方が痴漢よりひどいというところはありえませんが、間接禁煙が直接禁煙よりも健康に悪いということもありえませんが、80点を3を付けたからと言って、努力を認めていないわけではありません。それと同じように、沖合に停泊する船に乗っている人が、原発の近くに住んでいる人よりもひどい被曝をすることはありえないのです。小学校の算数が分かる人なら誰にでも分かることです。

小泉純一郎氏は、米兵が「可哀想だ」と言ってテレビの前(菅氏と同じ)で泣いてみせました。そんな純一郎氏を「いい人だ」と言った評論家がいま死んだ二万人の為に涙を流さなかつたのですか。

涙を流すのも、それに同情するのも、どうしてそんなことをするのかと言えば、知性がないからではなく(小泉氏に知性がないのは事実ですが)、為にする所があるからなのです。

### 神奈川 梅原英毅

長嶋一茂氏のつまらないエピソードに始まって、あれよあれよと言

う間に福田財務次官や、米山新潟県知事の様にマスコミの餌食になった残念な話題が出て来て、ついでに赤匪朝日新聞の理不尽な話が出てきました。更に裏切り者の三反園知事や、自国民を見殺しにした世界の3大政治家の一人と言われる菅直人氏が出てきたり、最後は反日日教組の話や、お友達作戦に参加した米国軍人の虚偽の訴えによる裁判や、知性がない小泉純一郎氏など、たいへん面白く一気に読んでしまいました。

**運転免許証に「西暦」導入**  
〒30-8-17 神奈川 川久保勲

警察庁が件名の如く「運転免許証に西暦導入」を予定して、9月4日締め切りで「意見公募」をしています。

これを赦すと、他の公文書にも西暦が波及する恐れがあります。是非、下記要領で反対のご意見をお寄せください。因みに、私は次のような意見を送りました。

「外国人に配慮して有効期限を西暦表記にすることですが、日本人の方が圧倒的に多いので本末転倒です。せめて、次のように併記すべきです。平成31年(2019年)3月3日まで有効」  
川久保勲

◆インターネットで「意見箱」警視庁Webサイトより入る。↓  
ライバシーポリシーに同意するにチェックして「次へ」をクリック

# 安倍首相・河野外相 は国連に抗議せよ

018.08.22 政経調査会 榎泰智

国連のサイド・フセイン高等人権弁務官(シヨルダン人)は8月2日の会見で、所謂従軍慰安婦問題において日本が南朝鮮に対し歩み寄りの態度を示すように求めた。所謂慰安婦問題の解決を示した2015年12月の日韓合意においては日本が10億ドルを支払うことで、最終的且つ不可逆的に決着したと国家間で取り決めたにも拘わらず南朝鮮がこの約束を遵守しない訳であるが、サイド・フセイン弁務官によれば、南朝鮮政府が元慰安婦の合意がないままに勝手に日本と締結したものであると指摘。元慰安婦の高齢化が進んでいるので早くこの苦しみを解消するべきと述べている。

国際的に中立であるべき国連の弁務官がこのような一方的に日本を非難する内容で退任前会見を行うとは常識的に信じがたいというのが日本人の見方である。しかしながら世界の趨勢において、日本はアジアを侵略した絶対的悪の権化として見られているのである。その中で日本には天皇制を構成する一要素として「戦時性奴隷制度」が存在したと明確に位置づけられている。

極東国際軍事裁判において日本は侵略国として断罪され、我国はこれを受け入れた。そして、2000年に九段会館で開かれた「女性国際戦犯法廷」なる擬似裁判により従軍慰安婦は性奴隷

制度と名称を変えて世界に吹聴され定着してしまったのだ。故に日本が同盟国であると思っている米国においては公園などの公共地に次々と所謂慰安婦像が設置される辞退となっている。こうした史実の誤りを日本政府はひとつずつ糾していかなければならないのだ。

サイド・フセイン弁務官はフィリップスのドテルテ大統領が行っている麻薬撲滅戦争を批判した。徹底した治安対策で何千人もの容疑者を殺害したとしてドテルテ大統領を非難したのだ。サイド氏は3月、ドゥテルテ氏には「精神鑑定」が必要という見方を示していたが、ドテルテ大統領は4月3日の演説で「おい、売春婦の息子、俺が精神科医に診てもらふ必要があるだろ?」「精神科医は『あなたは大丈夫だ。ただののしるのが好きなんだだけだ』と言っていたぞ」と語った。またサイド氏に対し「見ろ、お前の頭は大きい空っぽだ。頭脳がない。空っぽだ。髪を伸ばす栄養分すらない。なぜならほら、はげているから」と非難した。

安倍首相、または河野外相がドテルテ大統領と同様の言辞を使用するか否かは問わないが、この不見識なサイド弁務官、そして国連に対し強く抗議することを要求する。国連に対し毎年多額の資金を拠出しながら、間違った見識に基づいて非難され続けることが看過されて良い訳がないのである。

## 通州事件を記事にした 7-24 拓大教授 藤岡信勝

朝日新聞がついに通州事件を記事に

しました。本日(7月23日)付けの夕刊です。ただし、論調は100%朝日流の自虐史観です。開業医をしていた父と母、妹を殺された姉妹(現在は天津市と東京都足立区在住)を取材し、「憎しみはない」、「日本が(中国人を)ひどい目に遭わせたことが、ブーメランのように私たちに戻ってきたのだと思う」などという発言を報道しています。「最近の日本は憎しみをかき立て、叫び立てる人の声が大きいが、憎しみの連鎖はナンセンスです」とも。通州事件に関心のある私は、すぐに朝日新聞に電話をかけ、取材対象のお二人に教えていただきたいことががあるので、記事を執筆した「編集委員・大久保真紀」氏に取り次いでもらうようお願いした。しばらくして、「取り次ぐことはできない。記者本人にあって手紙を書いて欲しい」との返事が伝えられました。やむを得ません。そうするつもりです。

**考いて増々元気  
李登輝先生**  
李登輝友の会 代表 辻井正房  
H30-6-25

日本李友会・日台平和基金共催で李登輝元総統歓迎晩餐会が本土から駆けつけた人たちを合わせ200人を超える多くの参加者が集まりました。李登輝閣下からは「今我々の生きる平和で安定した環境は決して当然のことと与えられ

たものではなく、むしろ多くの人々の善意の結びつきと不断の努力によってこそ手に入れるものです。これからのアジアの安定については、中国のあらゆるさまざまな覇権主義的な膨張に対してはこれからのアジアで最大の不安定要因となっている。日本と台湾は平和を愛する国家ですが、アジア情勢の大きな変化に直面する日本はアメリカに頼るのではなく、日本自身が大きく変化する必要があります。今後は日本と台湾のみならずアメリカも含め共同で積極的にアジアの平和と安定のために協力していくべきである。

これまで長きにわたって積み重ねられて来た日本と台湾の交流は様々な分野ですでに大きな成果を挙げているが、中国の覇権主義的な脅威に直面し、日台の地政学的な戦略もまたいかに実現させていくかの変化が求められています。中国の覇権的な膨張を日台米が手を携えて押さえ込みつつ平和的な安定を目指すべきです。

すでに民主主義を確立し、自由を勝ち取った私たちは人類の文明に対する責任を有しています。同時に中国の人々に民主主義と自由の本物の価値を伝え民主主義あつてこそ本物の自由が入るということを呼びかけていかなければなりません。」という大切な話をされました。足は少し弱って来られましたが大きな声はとも95才だとは思いませんでした。

~~~~~  
後日、蔡英文総統が対中強固路線の演説をされました。李登輝先生が彼女を心を後押ししたのでしよう。

あいつ連  
絡(たご)。  
kumoha551@mac.com

拉致問題から考える国防の欺瞞

9月5日に予備自衛官を任期満了退官する。

私が予備自衛官になったのは平成15年(2003)9月6日。その前の2週間、予備自衛官補2期生(語学技能・朝鮮語)としての教育を横須賀武山の陸上自衛隊第1教育団で受け、訓練終了翌日となる9月6日付で予備2等陸曹(予備役軍曹)として任官した。

予備自衛官生活15年

もともと予備自衛官は常備自衛官、つまり職業として自衛官を経験した者でなければならなかった。しかし時代の変化に対応して平成14年(2002)から民間人が予備自衛官補として訓練を受け予備自衛官になる制度が陸上自衛隊に発足した。予備自衛官補には一般公募と技能公募があり、一般は50日(5日間×10回)、技能は10日(5日間×2回)の訓練を受ける。私は朝鮮語の技能で予備自衛官補になった。できれば1期で入りたかったが平成14年の第1期の語学技能は英語だけだった。憤慨して当時防衛庁政務官だった平沢勝栄・拉致議連事務局長に「自衛隊はアメリカと戦争をする気ですか」といったような嘆願書を書いたこともあった。平沢議員からはわざわざ電話をいただきなだめられたが、翌年には

英語に加えて自衛隊で言う「露華鮮」、つまりロシア語・中国語・朝鮮語の公募が始まったので早速応募した。ちなみに一般公募の予備自衛官補1期生には現在予備役ブルーリボンの会の葛城奈海広報部会長、高沢1基板橋区議、そしてお父さんが民社党本部時代の先輩でもあり社労士として活躍している専田晋一さんらがいる、皆予備役ブルーリボンの会の会員である。

予備自衛官は3年1任期で、再任用ができるのは50歳までだった。私の場合は56歳で再任用になっているのでそれが最後。今年からの1歳まで再任用できる制度改正が行われたが、残念ながら任期切れのひと月前に2歳になってしまいその恩恵に浴せなかった。

私が予備自衛官になった理由は二つある。ひとつは生まれ変わったら軍人になりたいと思っていたこと。もうひとつは拉致被害者の救出である。

拉致問題に関わり始めてこの時点で7年が経過し、その間拉致問題が明らかに安全保障上の問題であるという思いが強まっていた。安全保障の問題であるなら自衛隊が何らかの役割を果たすのは当然だ。しかし自分自身が安全な場所において「救出に行け」と言うのもいかなるものかと思っていたところ、予備自衛官補制度ができたのでこれ幸いと応募したのである。

もちろん任官当時47歳、そうであっても運動神経の劣る自分にランボーマがいのことができると思っただ

保障を他の国に委ねながら「平和国家」を装ってきたことが、拉致を防げず、被害者をほとんど取り返せず、あまつさえ国家権力が起きた拉致を隠蔽することにつながったのではないかというのが、この問題に取り組んで来て出した一つの結論です。

ただ、具体的にどこがどう動いたのかという点になるとまだ謎が多かったのですが、先日発刊された阿羅健一・杉原誠四郎著『吉田茂という反省』(自由社)を読んで、その謎の一部が解けたような気がしました。

本書はお二人の対談本です。吉田茂を厳しく批判しています。しかし単なる悪口ではなく、豊富な資料を使って検証したものです。それによると吉田が軽武装・経済発展を賣いて日本の復興の基礎を作ったということは幻想に過ぎず、軍隊がなければ独立国家としてやっていけないことを分かっていたながら(しかも当時の世論調査でもそれを国民の多数が支持していたのに)それを無視し、その代わり米国との植民地・宗主国的な関係を自ら作って国家の基本を蔑ろにしたということでした。

これには非常に説得力を感じました。ここに戦後体制の根っこがあったのかと。その前提で、少し長いのですが次の文を読んでみていただければ幸いです。予備自衛官の任期を終えるにあたって書いたものです。もし紙にプリントしたものが良いのであればお送りします(私の個人アドレス)

国会面院記者会所属 やまと新聞社

【拉致問題の闇を切る】—拉致と国防

— 荒木和博

2018年8月27日

私は前々から拉致事件は北朝鮮が引き起こしたものでけれど、それを許してきたのは日本の問題であると言ってきました。もはや「戦後」とも言えない73年間の「戦後体制」の中、安全

ではない。ただ、拉致問題について、朝鮮半島について、あるいは失踪者のデータについてそれなりに知識を持っている者として何かのときにはお役に立てるのではないかと思ったのである。

ただし、一般公募の予備自衛官補は90日の訓練を受けひと通りのことはこなすし、最初の階級は二等陸士(二等兵)である。それに比べて私たち技能公募はわずか10日の訓練で最初から陸曹(下士官)、技能によっては幹部(将校)になる。元常備自衛官出身が大半を占める予備自衛官の訓練では、周囲の皆長年経験を積んだ陸曹として見るのこちららは射撃どころか行進ひとつまともできないのだ。

制度のスタートから10年経って予備自衛官の訓練に参加する予備自補出身者が増えて現役にも理解が深まったので大分スムーズにいくようにはなったものの、このギャップに冷や汗をかいた経験は一度や二度ではない。今でも整列しなければならぬのに半長靴の紐が結べずに焦る夢とか見ることもある。このコンプレックスは技能公募の予備自は大なり小なり持っているのではないかと思う。

そんな中で作った軍歌「日本陸軍」の替え歌がこれである。元歌は陸軍の各兵科(歩兵とか工兵とか、今の自衛隊で言う職種のこと)のことを象徴する歌だ。

訓練十日で任官し 基本動作も  
ままならず

敬礼さえもぎこちない 技能予備自  
の勇ましさ

至高の愛国技の精華 逆さに着い  
てる階級章

自衛官は拉致問題に関心がない

この種のエピソードはいくらでもあ  
るが、本題に入る。任官して、片足の指  
先くらい自衛隊に突っ込んで驚いたこ  
とが二つあった。ひとつは、昔から「税  
金泥棒」だ「人殺し」だ「軍国主義の亡  
霊」だと左翼から散々叩かれてきたにも  
かかわらず極めて真面目な、きちんとし  
た大組織が続いてきたことの驚きであ  
る。東日本大震災以来迷彩服が一般の目  
に触れることが多くなって自衛隊の好  
感度は高まっているが、中々いることの  
理由を実感する。

実は予備自衛官補から予備自衛官に  
なるとき、何人かの現職自衛官から「失  
望しないで下さいよ」と言われた。何の  
ことか分からなかったのだが、要は元々  
の、現職を辞めて予備自衛官になった人  
たちの士気が低く、せっかく公募で勢い  
込んで入ったのにショックを受けるの  
ではないかと思配されたのだ。

しかし最初の訓練に行ってみるとそ  
んなことは感じられなかった。予備自衛  
官の訓練は通常年間の9日で、私の場合  
はほとんど朝霞駐屯地で受けた。年齢も  
職業もばらばらだが皆それぞれに味の  
ある人たちで、こなすところはしっかり  
こなしていた。それが予備自衛官だけ  
ら、現職はなおのことである。

予備自衛官としての最初の訓練のと  
き一緒だったのが後に予備役ブルーリ  
ボンの会の副代表になる木本あきらさ  
んと幹事になる坪井久さんだった。木本  
さんは当時プラントのエンジニアとし  
てエジプトのアレクサンドリアに駐在  
しており、9日間の訓練の度に地球を半  
周して帰国していた。

もちろん飛行機代は自腹で、自衛隊から  
支給されるのは千葉の自宅から朝霞ま  
での交通費だけである。坪井さんはお祖  
父さんの坪井幸生さんが元朝鮮総督府  
の官僚で、その縁で総督府時代の経験  
を綴った著書を出されるとき家内がお  
手伝いすることになった。現職のときは  
映像写真中隊にいて、今もイベントの  
ときには撮影などで活躍してくれている。

ただ、最初の訓練のとき「最近は厳し  
くなったよなあ」といった話も聞いた。  
昔は9日間の訓練に出頭して、昼間は  
熱発就寝(発熱を理由に休むこと)、夜  
は宴会というのを続けて9日目に手当  
をもらって帰ることもあったというの  
である。私は幸か不幸か一度も経験しな  
かったが。

さて、それは良かったのだが、問題は  
今回のテーマに関わる、もうひとつの驚  
きである。それは「自衛官の大半は拉致  
問題に関心がない」ということだった。  
これは予備自衛官より常備自衛官にそ  
の傾向が強かった。詳しいことは知らな  
いにしても、自分の国土から国民が連れ  
去られているのだから悔しいとか、何と  
かしなければいけないという思いは人  
一倍持っているだろうと思っていたの

だが、基本的には一般の民間人と変わ  
らないのである。

訓練のときではないがこんな話も  
あった。知人の娘さんが航空自衛隊を  
志願し、受験して落とされてしまった。  
その理由自体は分からないが、面接の  
とき「なぜ自衛隊を志願したのです  
か」と聞かれて「拉致問題に関心があ  
りまして」と答えたら試験官が「自衛  
隊と拉致問題とどういう関係がある  
のですか?」と聞いたというのである。

拉致問題は工作員が日本に侵入し、  
日本国内に工作員の拠点やネットワ  
ークがあって日本人を拉致し不法に  
連れて行くのである。明らかに安全保  
障問題なのだから、軍隊が関与するの  
は当然である。もちろんこれには外交  
問題とか様々な要因があるので軍隊  
だけでやるべしというのではない。少  
なくとも何らかの役割を担うべきだ  
ということだ。

しかし、日本の中にはそれを否定す  
る人間が今でも少なくない。しかも、  
何も分からない民間人が言うならと  
もかく、各自衛隊のトップである幕僚  
長経験者の中にすら「拉致問題は警察  
の仕事」と言ってはばからない人も  
いるのだ。私自身元将官クラスの人と半  
ば怒鳴り合いになったこともあるし、  
元自衛官の国会議員が自衛隊による  
拉致被害者救出はできないと、  
法律論を延々と述べているのを横で  
見ていて呆れたこともある。「こうい  
う人たちは何のために自衛官になっ

たのだから」と思ったことも一度や二度ではない。

「こう言つと」今の憲法が悪いのだから、それを変えなければ拉致問題は解決しない」という答えが返ってくるかも知れない。確かに今の憲法に問題があることは間違いない。しかし安倍政権がやるうとしてゐる憲法改正は自衛隊を明記するだけのことであつて、役割や権限は変えないと、総理自身が言っているのだ。ならば大騒ぎして憲法を変えても拉致被害者の救出などできないではないか。

「一度変えてしまえばまた変えられるようになる」という意見があるかも知れない。しかし安倍政権でできる憲法改正は、成功してもこの一回だけだろう。その後また変えようという総理大臣が出てくる保証もなく、それができて、それから準備して拉致被害者を救出しに行く頃には本人も家族も皆死に絶えているはずだ。

できるはずもない「専守防衛」

もともとこの国の国防は基本方針自体が欺瞞の塊である。「専守防衛」というが延べ6万9千キロ、北方領土を除いても6万4千キロの長大な海岸線をどうやって「専守防衛」で守るというのか。できるわけがないではないか。日本海には毎年数十隻の北朝鮮船が漂着している。

昨年の11月から今年2月までの4ヶ月間はとりわけ集中し、百隻以上がやってきているのだ。その大部分は漂着

してから発見されている。海上で見つけたのはごく一部でしかない。警察も海上保安庁もほとんど侵入すら気付くことができないのである。

さらに本当の遭難に混じつて何らかの意図を持って日本にやってきている船もある。去年11月には秋田県由利本荘市に8人、北海道松前町に10人の乗った船が着岸した。どちらも乗組員は機関故障による遭難と言つていたそうだが、場所から言つて由利本荘も松前も着岸したのは操船しない限り入れない場所である。由利本荘の船はあと1人乗つていたという話があるし、それ以外に北朝鮮の何らかの要員が上陸に成功したケースも少なくないと思われる。

昔から北朝鮮工作員にとつて日本に侵入するのは「メシを食つてトイレに行く程度のこと」と言われていた。能力の劣る工作員が日本への侵入に使われるという話もあった。そんな風にして何十年もの間好き放題にされ、国民を拉致されていて何の「専守防衛」か。散々ヒットを打たれて得点されながらただ守備を続けているだけではないか。

政府は「専守防衛」を補う形で「米軍が矛、自衛隊が盾」と言つてきた。これこそ文字通りの「矛盾」である。憲法前文には「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」と書いてある。その通りなら「矛」はそれ自体があつてはいけないはずだ。6条2項の「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」というのは自

分は手を汚せないから汚い仕事はアメリカにやつてもらふという意味なのか。それでは保護国に甘んじるといふことであり、保護しないと言われてしまえばお手上げということではないか。他国がいなければなりたない国防というのは「国防」ではなく、それ自体が言語矛盾である。

主権回復後の9年、要は日本の国防の基本は間違つていた。他国を信頼して安全を委ねる、軍隊を持たないというファンタジーと虚構は、もともとは日本を一度と歯向かわせたくはないという米国の意図によるものである。しかし主権回復後も延々とそれを続け、嘘をごまかすために自警団の親分のような名前を使い、駆逐艦を護衛艦、大佐を1佐と言ひ換えてきたのが我が国である。もちろんその矛盾を力バするために自衛隊の内外で様々な人々が血のにじむような努力をしてはきたのだが。

自衛隊が合憲だというなら6条2項の冒頭「前項の目的を達するため」という芦田修正をもつて閣議決定で、改憲をしてしまえば事足りる。あとは総選挙で信を問えば十分だ。そもそも極めて改正のハードルの高い憲法を細かい条文まで杓子定規に適用していたら国がやっつけられるはずがない。

日本人は規則を守るのは得意でも作るのは苦手だ。憲法のような基本方針を変えるのは不得手中の不得手である。帝国憲法も一度の改正もされなかった。特に、形式的には国家と国家が合併した日韓併合のときも帝国憲法には変更がなされなかった。

行政機関として設けた朝鮮総督府は通常であれば国家の行政機関に匹敵する組織である。しかし帝国憲法には「行たりとも総督府については書かれていなかった。いくら「不磨の大典」とは言つても常識的には考えられないことだ。

逆に言えばそれでも総督府の統治はできたのであり、現代に当てはめれば憲法に明記しようがしまいが自衛隊は軍として存在するということだ。ただし、現実に存在していることは誰でも認めざるをえないだろう。今の憲法をどう思っているかは別として、「憲法違反だから自衛隊はなくすべきだ」と本当に思っている国民はほとんどいないだろう。さすがにこの時代、軍事力を持っていることは当たり前と認識している人が大半だと思う。

そしてその「当たり前」という意味で言えば、国家を護る軍本来の姿として、囚われた国民を救うというのは当然の任務だということだ。

犠牲を厭わず国を守つた韓国 さて、「専守防衛」という点から日本と韓国を比較してみたい。今の韓国はある意味北朝鮮の傀儡政権だが、それと全く異なった時代、1970年代朴正熙政権の頃の韓国である。

昭和49年（1988）1月21日、大統領暗殺を命じられた北朝鮮のゲリラ61名が休戦ラインを越えて韓国に入りソウルの大統領官邸の背後にある北岳山まで迫つた事件があつた。

このときは実行前に発覚し26名が射殺、一人が生け捕りにされ一人は北朝鮮に逃げ帰る。逮捕された人民軍少尉金新朝が記者会見の場で浸透目的は何かと質問され「朴正熙の首を取りに来た」と語ったのは有名な話である。

さらに同じ年の十月から十一月にかけて、北朝鮮は120名のゲリラを日本海側の海岸に侵入させた。その一部は山中の家に乗り込み、家族を斬殺している。その中には「共産党は嫌いだ」と言ったために殺された小学校2年生の男児、李承福もいた。

これらの事件は朝鮮戦争休戦から15年、まだその記憶が生々しいときであり、韓国民に与えたショックは大きかった。これに対して韓国が行ったのが、逆に北朝鮮にゲリラを送り込み破壊活動をする、「Tit for tat」(しっぺ返し)という戦術だった。そのためにつくられた特殊部隊の一つが後に映画「シルミド」の題材となった空軍の684部隊である。

送られた特殊部隊、いわゆる「北派工作員」は772の名が帰ってこなかったというが、韓国はその犠牲をもって国を守ったのである。休戦ラインからソウルまでは最短40キロという近さであり、その休戦ラインは延長250キロという長さである。攻撃する側は自由による場所を選択できるが、守る側は全てに目を光らせて、どこから来ても対応できるようにしなければならぬ。

専守防衛などという夢物語では絶対に守れない現実がここにある。やられたらやり返すしかないのであり、その姿勢こそが北朝鮮に恐怖感を与え、話し合い路線へと転じさせたのである。

韓国の国防は米軍の存在なしにはなりたなかった。しかし当時の朴正熙政権はそれが永遠・絶対的なものとは思っていないかった。実際在韓米軍撤退を選挙公約にしたジミー・カーターが昭和52年(1977)大統領に就任するとその懸念は一層現実的なものとなった。韓国は、結果的には米国に止められるが抑止力を確保するために核兵器の開発も試みた。また、独裁として悪名高き「維新体制」によって国内の批判を押さえ、重化学工業、とりわけ軍需工業の育成を図って自主防衛の体制を築いていった。ともかく当時の韓国は必死だったのだ。

米国依存という点ではある意味日本も韓国も似た部分がある。しかし、その真剣さにおいて日本は当時の朴正熙政権に遠く及ばない。それでも、本当に日本が守られていたのなら良いが、現実には国土を蹂躪され国民を連れ去られているのである。

自社なれ合いによる軍事力の日陰者扱い

米国による保護国に甘んじる、その根源である憲法を守り、しかし何もなければいけないので「自衛隊」という中途半端な行政機関を設けて、「戦力ではない」といってまかしを続けてきたのだ。

がこの国だ。昭和30年(1955)から始まる自社両党による「55年体制」、さらに言えば安保改定が終わり岸政権が退陣して社会党から民社党が別れたあとの「60年体制」の自社なれ合いはこのまかしを維持するには最高の組み合わせだった。

自民党はもともと憲法改正を党是としていたはずだが、社会党がいるおかげで保守の側には「改正したいが今はできない。だから憲法改正を実現するために票が欲しい」と言い続けなければよかった、社会党は社会党で自民政権が続く(と言い方を換えれば米国が守ってくれる)ことが前提で、それに表面だけ反対することで野党第一党という立場に安住することができた。

ついでに言えばそのような擬似連合政権だったからこそ細川・羽田政権で権力の座から引ぎずり降ろされた後、平成の年(1994)になっていきなり自社連合政権である村山内閣が組織できたのである。あのと自社両党からも社会党からもほとんど離脱者がいなかったことが、両党が表面対立、裏でなれ合いの政治で何十年も国民を欺いてきたことの証明でもある。

その中で自衛隊が軍隊であることは一貫して否定されてきた。歴代の防衛庁長官の名前の中に金丸信、加藤紘一、山崎拓といった親朝派の大物があり、一方で後に総理大臣になった人間が中曽根康弘一人しかいないのが全てを物語っている。要は軍事力は徹底して日陰の存在でなければならなかったのだ。防衛庁長官は格下の伴食大臣であり、大物ある

いは本気で国防を考える人間はごく一部しか任命されなかった。

救出のためには軍事力の関与が絶対に必要である

さて、国家にとって武力はその存続のために必要不可欠である。それは国家が自ら立つための精神的支柱でもある。最後は戦って同胞と国土を、そして歴史を守る覚悟がなければそれは国家ではない。そこに必要なのは行政機関としての「自衛隊」ではなく「国軍」である。そして軍としての榮譽は生命をもって裏打ちされたものでなければならぬ。あえて言うが憲法は関係ない。

軍は憲法以前の存在である。もし本気で今の憲法の通りにするのであれば自衛隊も日米安保もあってはいけなはずだ。「明記」などというまかしで済む話ではない。現実問題として軍事力が必要だというなら自衛隊ではなく軍隊であるのが当然だろう。

北朝鮮は強そうに見えて極めて怖がりの国である。プッシュ・シユニア政権のとき「悪の枢軸、イラン・イラク・北朝鮮」と名指しされたことに恐れられて金正日は日本との交渉に逃げ道を探り拉致を認めての人を返した。トランプ政権が強硬だったとき金正恩は話し合いに応じた。要は彼らにとっては力が全てなのだ。力の裏付けのない交渉では何の意味もないし、日本がいざとなれば戦う姿勢を見せたとき北朝鮮の姿勢はおそらく急変する。例えば日朝交渉に軍服を着た軍

人が参加することだけでも効果を見せるはずだ。それ以外でも自衛隊は情報収集にはいくらでも使えるし、体制急変時に邦人保護の活動ができるのは自衛隊しかおらず、その準備は直ぐにでも始めるべきだ。

北朝鮮の通常兵器などたまに船を沈めたり島に砲弾を撃ち込むなど、脅かし以上には使えない。全面的な戦争する能力などない。海岸線の防備など問題外だし、北朝鮮の海軍に至っては大東亜戦争どころか日露戦争当時の連合艦隊があればことごとく海の藻屑だろう。国民を餓死させる貧乏国家が核・ミサイルに資源を投入したら通常兵力がどうなるか、素人でも想像がつくではないか。

もうひとつ書いておきたい。どんなに米国に期待しても拉致被害者は帰ってこない。福井義高・青山学院大教授が指摘しているが、米国は国家の命令でベトナム戦争に送った兵士を見捨てる国なのである。しかもその首謀者はベトナム戦争の捕虜としてヒーローになり、共和党の大統領候補になったジョン・マケインなのだ。私たちにどうして参考書はあっても教科書はなく、友人はいても保護者はいないという、当たり前のことを再認識すべきである。

拉致問題で今の状況が続くのは「現状維持」ではない。残り時間がなくなっているということだ。ストックホルム合意が今でも続いているとか、トランプに頼んで金正恩に話してもらおうなどという情けない手段に頼り（それも

もはやほとんど望みは絶たれている）、それでも軍を拉致問題に一切使わないというのは被害者を見捨てることと何の違もないのである。

拉致被害者は取り返せる

さて、本稿で私は自衛官に拉致問題への関心が低いと書いた。しかし、自衛隊の名譽のためにそうではなかったという話も書いておかなければならないだろう。

平成11年（1999）5月2日、東京の日比谷公会堂で初の国民大集会が開催された。ジュールテンウィークの真只中に全国から集まった1000人の参加者の前でシンポジウムのパネリストだった佐藤守・元空将は元自衛官として拉致を許したことが申し訳なかったと語った。

平成14年10月19日、前月の小泉訪朝で北朝鮮が認めた蓮池薫さんから拉致被害者の人が帰国した。ちょうどその2日後、11日に帰国を果たせなかった拉致被害者増元み子さんのお父さん、増元正一さんが亡くなった。危篤の報せを聞いて東京から鹿児島に飛んだるみ子さんの弟、増元照明さんに申しわけありませんでしたと飛行機の機内で泣いて謝ったた男性がいた。現役の自衛官だった。私服を着ていたのだから何も言わなくてもわからなかったはずなのに、黙っていられたのだ。

この間自衛官はそのような感情を持つことをある意味禁じられてきたとも言える。拉致問題に関心が低いのは決して当事者だけのせいではない。しかし、極めて質の高いこの組織は、いったん拉致被害者の救出に取り組みということになれば、今関心のない自衛官もふくめて、大きな動きをすることになるだろう。

が本当の意味での「国防」であると確信する。

最後にひと言申し上げたい。以上述べてきたことに反論のある人、特に元自衛官ないし現職自衛官で反論のある方とはぜひ公開の場で議論をしたい。ご連絡をいただけることを期待している。

（平成30年8月16日記）

もちろん、それは一朝一夕にできるわけではない。準備をしっかりとしなければいけず、犠牲を増やすことになりかねない。だから今からその準備を進めていかなければならないのである。

私は本稿を残り任期少ない予備陸曹長として書いています。本来予備自衛官の立場でこういうものを書いてはいけないうらしいが、あえて今、問題提起として書いた。自衛隊員の服務の宣誓には「私は、わが国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し、日本国憲法及び法令を遵守し」とある。しかし日本国憲法と自衛隊法をまともに守っていたらわが国の平和と独立は守れない。もちろん拉致被害者も取り返せないし拉致を防ぐこともできない。

私が最も尊敬する活動家が荒木先生です。

今から20年ほど前、救う会ができたころです。

私が荒木先生に、今では最も尊敬する政治家の一人、救う会兵庫の長瀬代表（現神戸市議）

（現神戸市議）

について不満を言ったのです。忘れもしません。共同で新聞を作り、私は櫻井よしこ氏と表現し、

彼は櫻井よしこさんが良いと言い、それで大口論。それを荒木先生に愚痴ったのです。

私が40歳のころ、丁度会社も絶頂期、生意気が頂点に達していました。

繰り返すが独立回復後のの年間の日本の国防の基本方針は間違いであり、その間違いが多くの日本人を北朝鮮に拉致されて大部分を未だに取り返せないことにつながっている。しかし、総理があるいは国民が決断すれば自衛隊は間違いなく軍として拉致被害者の救出に寄与できるし、まだしなければならぬと確信する次第である。そしてそれこそ

その時荒木先生は、「活動は皆気持ちでやっている。気持ちと気持ちがあわさって一つのことができる。」と言われました。それ以来この言葉を何人の人に言ってきたか。

もちろん自分の言葉として。手癖、いや癖が悪くすくパクする……。

彼は大学の先生。『学者』です。それ以前に『人』だと思えます。

下記、—拉致と国防—是非お読みください。  
マスキ

村田春樹です

今生きてる人で私が一番尊敬する人は

荒木和博さんです。

荒木さんこそ 我が国最後のサムライです。

間違いありません。

村田春樹

時倉です。東京裁判でインドのパール

判事が、日本は無罪であると主張した。

また広島原爆記念碑に記されている

主語のない「過ちは繰り返しませんか

ら」の碑文を見て、

パール判事は「アメリカが書いたの

か？」と質問されたよし。

自虐史観はもう卒業すべきだ。日本は

二つの戦争目的をもって戦った。

一つは、マッカーサーも認めた、自存

自衛のために。二つは、アジアの白人

支配からの解放のために、である。

アジア・アフリカを侵略・植民地とし

ていたのは、イギリス・フランス・オ

ランダ・アメリカ等の白人であった。

よって日本は「アジアのお母さん」(タ  
イ元首相のクリリット・プラモード氏の  
発言)だったのだ。

インドから東南アジアの殆んど全ての  
国が親日国である。日本の戦争なくして

彼らの独立はなかったのだ。

日本は皇軍としての誇りをもって戦っ

たのだ。侵略戦争は断じてしていないの

だ。

ナチスの巨大な犯罪以上のことをした

のがアメリカだった、というのが歴史の

真実である。

将来いつの日か、日本に酷い事をしたア

メリカは、歴史に裁かれるであろう。

—

—

—

—

—

西村眞悟の時事通信

—

—

—

平成30年8月9日(月)

兵隊さん、仇をとってください

七十三年前の本日午前八時十五分、

アメリカ軍のB29爆撃機は、

広島の上空からウラニウム型原子爆弾  
(コードネーム、リトルボーイ)を投下  
した。

これが、都市の住民に対する人類最初の  
原子爆弾の使用である。

四年前、私は、サイパン島で

このリトルボーイをB29爆撃機に搭

載した場所と

その二百メートルほど離れた場所にあ

るファットマンを搭載した場所に佇み、

原爆を搭載したB29が広島と長崎に

向けて飛び立った滑走路を歩いた。

ジャングルから滑走路に吹き抜けてい

く風は、

熱帯の風なのに、そこに、ゾツとする不

気味さを覚えた。

このテナンの原爆搭載場所と広島長

崎に向かう滑走路には、

アメリカ軍の手によって、

誇らしげに、

「Historic Point」

というプレート、そして当時の写真と説

明書きが建てられていた。

しかし、日本人にとってこの地は、

ユダヤ人にとってのアウシュビッツの

ように身の毛のよだつ地である。

ホノルルを発ってサイパン島方向に

向かったB29が、

長文の電報をワシントンに向けて発

信したことを

我が国の陸軍特情部が挿んだ。

B29が直接ワシントンに発信する

など、今まであり得ない行動であった。

即ち、このB29は、新しいコールサ

インを持つ正体不明機であった。

よって、以後、

特情部は、このコールサインを持つB

29を追跡し始める。

六月下旬、

この正体不明のB29がテナン近

海を飛行しだし、

七月中旬には、

日本近海にまで足を伸ばしてきてテ

ニアンに引き返す奇妙な行動を取り

始めた。

八月六日

午前三時頃、

同じコールサインでごく短い電波が

ワシントンに飛んだ。

午前四時を過ぎた頃、

硫黄島の基地に対してこの機は

「われら目標に向けて進行中」と打電

した。

以下、「大本営参謀の情報戦記」(大本営

陸軍部参謀堀栄三著)より

昭和二十年五月中旬、

特情部は、「特殊任務機前進中」と緊

張した。

しかし、以後、一切、電波を出さなかつた。

午前七時二十分頃、豊後水道水の子灯台上空から東の広島上空に達したB29一機が、播磨灘に東進中に簡単な電報を発信した。

通常、このような一機の発信は、航続編隊に対する気象の連絡であることは統計的に判明しているので、

特情部は、先行の一機に続いて豊後水道の西から東に進む航続編隊の発見に目と耳を集中していた。

その瞬間、八時六分、二機のB29が、

豊後水道とは反対の東の方向から広島上空に突入していた。

ああ、万事休す

堀参謀等は、五月以来、注目していたワシントンに直接電波を発する正体不明機が

原爆投下という特殊な任務をおびた機であることを最後まで見抜けなかった。八時十五分 広島上空に一大閃光とともに原子爆弾が投下された。

八月七日早朝

ワシントンでトルーマンが正式に原子爆弾と表明した電波をキャッチして、

初めて広島に原子爆弾が投下されたことを確認し、

ニューメキシコ州で新しい実験が為されたという外電が、原子爆弾の実験であったことが判明した。

・・・我々は沢山の情報の中の一粒の金を見失っていた。

以上、「大本営参謀の情報戦記」終わり。

米国大統領トルーマンは、

広島への原爆投下直後、戦艦オーガスタでその報告を受けた。

そして、飛び上がって言った。

「ワア、人類で最初のことが起こった。

サア、みんな、家に帰ろう！」

この、日本に決定的ダメージを与える」という

アメリカの対日作戦目標は、

アメリカのハワイ併合前の一八九七年

(明治30年)に

海軍次官セオドア・ルーズベルトによつて作成された「オレンジ計画」から

一九一四年(大正3年)にセオドアの甥のフランクリン・ルーズベルト海軍次官が作成した「オレンジ計画」に至る迄一貫したものである。

アメリカにとって、日本に対する原子爆弾の使用は、

この「オレンジ計画」に一貫して定められた対日作戦目的実現の「手段」だった。

その上で、この時点において、

原子爆弾使用の人類史における意味を、直ちに見抜いた国家元首が、

我が昭和天皇であることを我らは知るべきだ。

それは、八月十五日に国民に伝達された「終戦の詔書」(玉音放送)に明確に述べられている。

・・・敵は新たに残虐なる爆弾を使用して頻りに無辜を殺傷し

惨害の及ぶところ、真に測るへからざるに至る。

しかもなお交戦を継続せむか遂に我が民族の滅亡を招来するのみならず、

ひいて人類の文明をも破却すべし。

・・・是れ朕が帝国政府をして、共同宣言に応せしむるに至る所以なり。

昭和天皇は、

原子爆弾が、人類の文明を破却するものであるとう認識を鮮明にされ、

その人類の文明を破却から守る為に停戦すると宣言された。

この天皇のお志と、

戦艦オーガスタの上で飛び上がった

トルーマンの様子を見るととき、

天地の差を感じる。

この差は、人間と無血虫の差だと言ってもよい。

ここに、我ら、日本人は、負けたとはいえ、

人類の文明の名において、誇りを持つべき所以がある。

無自覚なアメリカを含む人類の文明を救ったのだから。

さて、

本日の朝、八時十五分、

私もNHKの広島での慰霊祭の実況を見ていて黙祷した。

そして、

被爆者を思い黙祷したが故に、

広島市長の「平和宣言」と

NHKの女のアナウンサーに関して、

一言、

言っておかなければ気が済まない。

そもそも、

数年前の土石流の時でも、この七月の

集中豪雨による災害の時でも、

多数の市民の命を陣頭指揮して守り

抜く姿が一向に見えない広島市長が、

現在進行中の市民の惨害から遊離し

た他人のように、

「平和宣言」とは何事か。  
身の程をわきまえろ。

偽善ではないか。  
また、

式典の模様を厳かに解説していたNHKの女のアナウンサーは次のように言った。

「広島市民の皆様は、  
過ちを繰り返しませんからという誓いを  
受け継いでこられました」

厳かに押しつけがましく、何を言うか。  
まるで北朝鮮のおぼはんアナウンサー  
のようではないか。

これでは、  
原爆を落とされたのは、  
落とされた広島市民と日本の国が、  
過ちを犯したからと言っているのと同じである。  
無礼者。

アメリカは、十九世紀後半から、  
太平洋を支配するために練り始めた

「オレンジ計画」による

「日本を徹底的に壊滅させる」  
という一貫した対日方針を達成するため  
に

広島に原爆を投下したのだ。

さらに、広島市長もNHKのアナウンサーも、

我こそは、被爆した広島市民の心が分かっているかのように、

彼らの思いを代弁するな。  
僭越ではないか。

三代目江戸屋猫八（岡田六郎）さんは、  
陸軍船舶部の兵長として呉にいたが、  
広島救援のために被爆直後に部隊で広島に入った。

その時、  
道ばたに座っていた被爆した人々は、  
異口同音に救援部隊に言った。

「兵隊さん、仇をとってください。仇をとってください」と。

# 杉田水脈議員のLGBT参同を許さぬ

【東スポのタイトルです。いかに「杉田批判グループが偏狭であるか分かります】

「LGBT問題で雲隠れ杉田水脈議員靖国参拜で野党は再び大激怒」

この問題で左翼が「どうのこうの」と言うのは、いわば「病氣」ですから分らないでもないのですが、「いわゆる」保守を「自称する」極一部まで、集団ヒステリーに参加、加担していることです。

憲法の元での言論の自由は最大限に保障されるべきであり、取り分け国会議員の発言は更に強く担保されるべきです。かつて、正論を主張した大臣が、詰め腹を切らせられた例がありますが、その馬鹿げた行動が、国会を萎縮させ、本来あるべき活性化された議論に水を差して来ました。

時代の風潮がどうか知りませんが、左翼の言論統制、マインドコントロールに、保守が加わるこの状態は、一部とは言え、それこそ「問題」です。

異論反論を認めない、。それで民主主義が成立しますか？どんな価値観でも「違うのではないか」と言う意見があ

ります。私たちは、仮に「安保健法は戦争につながる。ファシストだ」と言う暴論があっても、その存在は否定しません。昔、国鉄で、異なる組合に加入している者を「吊るし上げ」することが日常でした。

そんな異常な状況が、今にあります。残念なのは、当事者がその異常性に気付いていない。「あいつは悪魔だ！」と言っています。中世ヨーロッパ的思考です。

元 都議会議員 土屋たかゆき

iPhone から送信

||||||||||||||||||||||||||||||||||||

8/20

中谷良子のブログ

<https://ameblo.jp/ryobato/>

LGBTについて様々な物議

2018-08-20NEW 1

テーマ：ブログ

私が言いたいのは、反日的な日本を乗っ取ろうとする外国人の移民、不正行為のみ問題化すればいいわけで、それ以外の

方々を、わざわざ敵に回す必要はないということ。

私には過去、LGBTと思われる方々の支持者がおり、様々な活動や選挙応援にも駆けつけてくださった。LGBT問題の発言に関しては、繊細な人もいれば、神経が逞しく、深く考えない楽観的なLGBTの方々もいる。受け取り方は様々。

保守の方々には「杉田さんへの批判は許せない」全文読めばわかるのに「とキーキー騒いでいましたが、日本国民が全員、年金暮らしのお年寄り、お金持ち、働いてもせず暇を持て余してネットに張り付いている暇人ばかりでは当然ないので

テレビを勝手に流していれば知らず知らずのうちに国民の頭に「LGBT」「生産性」の言葉だけが洗脳されていきます。ですから、こういった印象操作を刷り込んでいくメディアを、ぶっ潰していかなければならないのです。電波オークションの話題を一過性で終わらせてはならないのです。

保守層は、喉元過ぎれば熱さ忘れるです。憲法、拉致、領土問題同様、教育、電波オークションについて政府に重い腰を上げていただけるよう陳情しなければなりません。

「政治家」というのは、様々な国民の属性というものに、ある程度は配慮していかなければなりません。ですから揚げ足を取られぬよう、活動家の延長線上の気分でおらず、国民の声を真摯に聞き、言葉尻にある程度、日頃から自身で気を付けておかなければならないのです。

同じ保守でも、なぜ青山繁晴さんが反日勢力から目立った批判をされないのかを考えていただきたいと思います。そこには国民に対する分け隔てない愛情が見えるからです。



何をやるにしても、言動にはすべてにプラスの面とマイナスの面が生じます。プラスがいくら大きくてもそれ以上のマイナスがあれば失敗と言わざるを得ません。

「あの人の言っていることはおかしくない。」などと言っても後の祭りです。そこをクリアして少くすく世の中を正常化していく。

それが政治であり、運動ではないでしょうか。

もちろん私も（山ほどの）自戒を込めて言っています。 マスキ

共に反論できる理論武装が必要だと思  
います。

「参考までに」「自民党の考え方」、「旧  
民進党の法案、立民の政策」、「LGBT  
法案の現状」を添付しますのでご検討  
ください。

（自民党の考え方）

[https://www.jimin.jp/news/policy/  
137893.html](https://www.jimin.jp/news/policy/137893.html)

\*わが国は歴史的に寛容な社  
会であったことを前提に理解を促進す  
べしとするもの。

（旧民主党の法案、立民の政策）

[https://www.mishin.or.jp/article/  
109178](https://www.mishin.or.jp/article/109178)

<https://mingur.com/60ADjCs>

\*差別があることを前提に罰則  
付きの禁止法をつくらうとするもの。

\*枝野氏は同性婚は憲法違反で  
はないとの立場らしい。

（LGBT法案の現状）

[https://diamond.jp/articles/-/169  
318?page=2](https://diamond.jp/articles/-/169318?page=2)

木上 事務局

|||||

8-7

「やまと新聞」に寄稿しました。

拡散大歓迎です。

茨城県 鳥居徹夫（元文部科学大臣秘  
書官）

（タイトル）

あぶり出された懲りない面々、杉田L  
B T論文で

◆ミスリードしたNHK。「生産性」と  
いう表現に飛びついたが

総合誌「新潮45」8月号の特集「日本  
を不幸にする『朝日新聞』という虚構」

に掲載された杉田水脈（みお）衆議院議  
員の論文「LGBT（性的少数者）支援

の度が過ぎる」をめぐって、マスキミヤ  
一部野党が、杉田議員への個人攻撃に使

われている。

その攻撃材料となったのが「同性カッ  
プルには生産性がない」という表現であ  
った。

ここでいう「生産性」とは、あくまで  
も生殖機能を指しており、個人として生  
きることや働くこと、さらには生産性を

上げて納税することを指しているの  
ではない。

たとえばNHKは、8月3日のニュース

9で、相模原市の障害者施設「津久井や  
まゆり園」で入所者29人が殺害された  
事件と絡めた報道を行い、杉田議員が

「LGBTの人には生きる価値はな  
い」と言ったかのように歪めて解説す  
るというハレンチぶりを呈した。明ら  
かに「ミスリード」である。

つまり「生産性」という表現を切り取  
り、「LGBTが生きる価値はない」

というように印象操作し、相模原の大  
量殺人犯の植松容疑者と、あたかもと

いう杉田発言を同一視するかのよう  
な解説を流したことは、杉田議員に対  
する名誉棄損であり、電波を使った捏

造報道にほかならない。

◆「税金の使われ方」を提起した杉田  
論文

杉田議員が、この論文で提起してい  
たことは、あくまでも税金の使われ方  
である。

杉田議員はLGBTに対して、通常の  
施策に加え、特別に税金を投入してま  
で保護をする必要があるのか？とい  
うことを言っているのである。

つまりLGBTの方々への過度な特  
権をみとめるとか、さらに血税を投入  
するといったことは不必要、と言っ  
ているだけである。

つまりLGBTを特別視するとか、一  
部の差別する風潮に疑問を呈してい  
るのである。

それどころか杉田水脈論文は、LGBTの当事者たちの方から聞いた話として「社会的な差別云々よりも、自分たちの親が理解してくれないことの方がつらい」「親はすごいショックを受けた」と記している。

さらに「LGBTの両親が、彼ら彼らの性的指向を受け入れてくれるかどうかこそが、生きづらさに関わっています。そこさえクリアできれば、LGBTの方々にとって、日本はかなり生きやすい社会になる」「これは制度を変えることで、どうにかなるものではない」と、むしろLGBTの当事者のサイドにたった解説を行っている。ところが杉田議員を攻撃・誹謗している人たちは「生産性」と言う言葉尻を使って、「謝罪しろ、撤回しろ」といった言論弾圧、さらには自民党本部前のデモで容姿を誹謗中傷するプラカードを掲げるといったテレビ用のパフォーマンスが、一部勢力によって展開された。

メジャーなマスメディアが信じがたく酷い人権侵害を行い、杉田議員や家族の安全すら危惧されている。

ワイドショーというテレビ番組が、杉田氏の寄稿をめぐる今回の騒動を取り上げていたが、これは「自称」多様性

を大切にする人たちの言動・行動ではない。

おおよそ相手を脅迫するとか相手を威圧するやり方は、言論弾圧であり民主主義の危機でもある。またそれを咎めない報道の在り方もおかしい。

◆言論弾圧・多様性否定しているのが民進系野党

そもそも論文を雑誌に発表した一個人（杉田議員）に対して、謝罪要求のデモや殺害予告まで行われているが、杉田論文の全文を読んでいるとは思えない。

だからこそ左翼学者の大御所とされる山口二郎や香山リカからは、杉田議員に対して議員辞職を叫ぶが、この論文に対し差別とか人権蹂躪とか多様性否定などといった発信がなされていない。

科研費の使われ方などでは、狂ったように杉田議員を攻撃した彼らであったが、杉田論文に反論すれば、倍がえし三倍がえしで、返り討ちにあうと認識しているからではないか。おそらく全文を読んでいる、杉田議員への攻撃は無理筋という判断が働いていたからであろう。

むしろ過剰反応したのは、一部新聞やワイドショーで視聴率を稼ぎたいテレビ局であった。

そして政界では、おつちよこちよいの枝野幸男や玉木雄一郎などで、旧民進党重鎮の野田佳彦や岡田克也は沈黙ないしは様子見である。

それどころか自民党内の不協和音を拡散できれば儲けもの、という感覚ではないか。すでに野田聖子や石破茂、小泉進次郎らが同調すれば、

さて、これらに煽られて引込みがつかなくなったのが民進系の野党である。

立憲民主党代表の枝野幸男は「月30日に、「人権に対する意識の欠落」という深刻な問題として許してはいけない」と、杉田議員への個人攻撃を行った。もしも枝野幸男が杉田論文の全文を読んでいたとしたら、余りにもお粗末である。

また国民民主党共同代表の玉木雄一郎は、22日の記者会見で「誰かの価値観、誰かの視点で、他の人を普通ではないとラク印を押して、その人に対する蔑みの言葉を発することがあってはならない」と述べ、「本人も自民党も謝罪やコメントを出していないことは問題」と述べた。

これら両者の発言は、杉田議員に対し差別主義者や人権蹂躪と誹謗中傷していた党内の議員や支持者に向けて発する警句であろう。

言論弾圧や多様性を否定しかねない民進系野党こそ、自覚と反省が必要とされ

ることは言うまでもない。杉田議員に謝罪すべきは、むしろ立憲民主党であり、国民民主党なのである。（敬称略）  
<https://www.yamatopress.com/contribution/30239/>

やまと新聞社

 やまと新聞社 on YouTube

システム復旧致しました。

論説

【論説】杉田水脈

氏に見る 偏狭な

国家主義」と寛

大な愛国主義」の

違い

2018年7月27日

自民党の杉田水脈・衆院議員が、新潮45]8月号の「コラムで、子供をつくらない「LGBT」には「空産性」がないので、行政が支援する必要はない」と述べたことが、波紋を広げている。

問題のコラムは、日本を不幸にする朝日新聞』という大テーマの中の『LGBT』支援の度が過ぎる』というタイトルの中で述べたもの。杉田氏がこうした主張をしたのは今回が初めてではなく、次世代の党に所属していた2015年3月以前から同様の主張をしている

(<http://blogos.com/article/108796>)。

杉田氏はコラムの中で、自身が差別主義者ではなく、これまでにも「LGBTの人々と普通に接してきた」と述べる。日本は欧米のように宗教

上の制約を受ける社会ではなく、昔から性のあり方に寛容な社会だったことを訴えた上で、欧米に追随して過度な支援をすることに異を唱えている。ただ、「LGBTのうち「トランスジェンダー」については性同一性障害として治療の対象とする」とに賛成する。

こうした主張の中で、残念ながら上記の「空産性」がない」などの理由も述べている。

しかし、生産性がなければ支援の必要がないのであれば、高齢者福祉の政策は押しなべて必要ないことになってしまふ。彼女の発想を「チヌと同じ優生思想だ」とする意見にも、一定の説得力をもたらすのではないだろうか。差別するつもりはなくても、大意として「国家の将来に役立つ立派な人々は切り捨ててしまえ」と言っているに等しいからだ。

今回、杉田氏は自民党所属議員として初めて自身の考えを述べたことで、政権政党に所属する現職国会議員の差別発言として大きく取り上げられた。杉田氏としては、朝日新聞を糾弾する特集の「LGBTに限

定したテーマでコラムをお願いされたのかもしれないが、ほかに数多ある政治的問題の中で、なぜ「LGBT」に狙いを定めて攻撃したのか、その政治的センスに首を傾げてしまふ。

コラムの冒頭で、朝日や毎日などリベラル系メディアが比較的「LGBT」の記事を多く取り上げていることから、支援の側に立つ革新系に対抗したのだろうが、「LGBTの人々にとって保守や革新など政治的立場は関係ない。そもそも支援の度が過ぎると訴えているが、国会の場でさほど目立った支援活動は行われていない。

国内では、2015年に渋谷区が同性パートナーシップ条例を施行したのを皮切りに、世田谷区でも宣誓要綱を施行し、行政機関として同性同士の事実婚を積極的に認める方向に舵を切ったばかりだ。国会では、2016年に自民党内で特命委員会が設置され、各党の公約に「LGBT」支援が明記され、自治体に遅れる形で今後、差別禁止法の制定や事実婚などの法整備で税額控除の扱いをどうするかなどを議論できるかどうかという段階である。

多様化(ダイバーシティ)を許さない偏狭なナショナリズム(国家主義)は、包容力をもったパトリオテイズム(愛国主義)とは明確に異なる。杉田氏の主張は差別をもたらす、敵愾心を煽るだけである。リベラルな考え方を利用する反日思想にかえって付け入る隙を与えかねないという意味で、大いに問題のある考え方である。

ただ、残念ながら自民党には同様の考え方を持つナショナリストが少なくないのも事実である。

落合道夫

猛暑ですが御苦勞様です。

以下杉田さんの「LGBT」発言問題の対応についての感想です。

\*\*\*\*\*

1. 基本原理

共同体の限られた原資の用途は、国防と国民の再生産政策である。これは万国共通

だ。これから離れると国家は衰退し滅びる。

## 2. 少数対策の優先順位

これを基本に考えると。少数の子供の生まれない人々に、予算を割く優先順位は低い  
と見るべきだ。それより若夫婦に広い住宅を安く与える方が遙かに優先順位は高い。  
すぐに子供が生まれる。

## 3. 偽善

今杉田さんに反対する勢力はこうした道理は知っている。しかし彼等の狙いは、LGBT  
ではなく、科研費の不正追及妨害、さらに反安倍である。LGBTは道具に過ぎない。  
だからLGBTだけにこだわるとピエロになる。国民は問題の全体像を理解してこの問題  
に対処すべきである。

以上

7/31 中村新平

元の文脈から切り離した牽強付会の愚論ではないのか？

「愛国主義」と「国家主義」へのつながりが無論理の飛躍。論理破綻だと感じる。「子供をつくらなくLGBT」は「生産性」がないので、行政が支援する必要はないというコラムの切り取りの纏めが乱暴すぎる。その乱暴な切り出しを前提にして論を進めるのは誹謗中傷に近い。

原文の要所を取り出すと以下の通り。  
(抜粋)「判断は各位で。・・・中村新平

LGBTの当事者たちの方から聞いた話によれば、生きつらさをこの観点でいえば、社会的差別云々よりも、自分たちの親が理解してくれないことのほうがつらいと言っている

ます。親は自分たちの子供が、自分たちと同じように結婚して、やがて子供をもつてくれると信じています。だから、子供が同性愛者だと分かるのです。このショックを受ける。

これは制度を変えることで、どうかなるものではありません。LGBTの両親が、彼ら彼女らの性的指向を受け入れてくれるかどうかこそが、生きつらさに関わっています

す。そこさえクリアできれば、LGBTの方々にとって、日本はかなり生きやすい社会ではないでしょうか。

リベラルなメディアは「生きつらさを社会制度のせいにして、その解消をうたいますが、そもそも世の中は生きつらく、理不尽なものです。それを自分の力で乗り越える力をつけさせることが教育の目的のはず。「生きつらさ」を行政が解決してあげることが悪いとは言いません。しかし、行政が動くということは税金を使うということです。

例えば、子育て支援や子供ができたカップルへの不妊治療に税金を使うというのであれば、少子化対策のために税金を使うという大義名分があります。しかし、LGBT

カップルのために税金を使うことに賛同が得られるのでしょうか。彼ら彼女らは子

供を作らない、つまり「生産性」がないのです。そこに税金を投入することが果たしていいのでしょうか。にもかかわらず、

行政が「LGBT」に関する条例や要項を発表するたび

にもてはやすマスコミがいるから、政治家が人気とり政策になると勘違いしてしまうのです。

LGBTと一緒にするな

「これまで私もLGBTという表現を使ってきましたが、そもそもLGBTと一緒にするのは、

「トランスジェンダー」は「性同一性障害」という障害なので、これは分けて考えるべきです。自分の脳が認識している

性、自分の体が一致しないというのは、つらいでしょう。性転換手術にも保険が利

くようにしたり、いかに医療行為として充実させて行くのか、それは政治家としても考えていることなのかもしれません。

一方、「LGBTは性的嗜好の話です。以前にも書いたことがあります。私は中高一貫

の女子校で、まわり男性はいませんでした。女子校では、同級生や先輩といった女性に疑似恋愛の対象になります。ただ、それは一過性のもので、成長するにつれ、みんな男性と恋愛して、普通に結婚していきました。マスメディアが「多様性の時代」から、女性（男性）が女性（男性）を好きになっても当然」と報道することが多いことなかどつか。普通に恋愛して結婚できる人まで、「これ（同性愛）でいいんだ」と、不幸な人を増やすことにつながりかねません。

-----Original Message-----

From: NPO 法人 百人の会

[mailto:h100prs@oregano.ocn.ne.jp]

Sent: Monday, July 30, 2018 8:39 PM

To: naka-and-sin@hb.tp1.jp

Subject: 論説杉田水脈氏に見る「偏狭な国家主義」と「寛大な愛国主義」の違い

国会面院記者会所属 やまと新聞社

2018年07月30日(月曜日)

論説杉田水脈氏に見る「偏狭な国家主義」と「寛大な愛国主義」の違い  
2018年7月27日

自民党の杉田水脈・衆院議員が、「新潮45」8月号のコラムで、「子供をつくらない」

「LGBTには『生産性』がないので、行政が支援する必要はない」と述べたことが、波紋を広げている。

問題のコラムは、「日本を不幸にする『朝日新聞』」という大テーマの中の

「『LGBT』支援の度が過ぎる」というタイトルの中で述べたもの。杉田氏がこう主張したのは今回が初めてではなく、

次世代の党に所属していた2015年3月以前から同様の主張をこつこつ

(<http://blogos.com/article/108796/>)。

杉田氏はコラムの中で、自身が差別主義者ではなく、これまでにもLGBTの人々と普通に接してきたと述べる。日本は欧米のよう

に宗教上の制約を受ける社会ではなく、昔から性のあり方に寛容な社会だったことを訴えた上で、欧米に追随して過度な支援を

おこなうに異を唱えている。ただ、LGBTのウチウチ(トランスジェンダー)については

性同一性障害として治療の対象とするように賛成する。

こつこつ主張の中で、残念ながら上記の「『生産性』がない」などの理由も述べている。

しかし、生産性がなければ支援の必要がないのであれば、高齢者福祉の政策は押しなべて必要ないことになってしまう。彼女の発想を「ナチスと同じ優生思想だ」と

意見にも、一定の説得力をもたらすのではないだろうか。差別するつもりはなくとも、大意として「国家の将来に役立たない人々は切り捨てしまえ」と言っているに

等しいからだ。

今回、杉田氏は自民党所属議員として初めて自身の考えを述べたことで、政権政党に

所属する現職国会議員の差別発言として大きく取り上げられた。杉田氏としては、朝

日新聞を糾弾する特集のLGBTに限定したテーマでコラムをお願いされたのかも知れないが、ほかに数多ある政治的問題の中で

なぜ「LGBT」に狙いを定めて攻撃したのか、その政治的センスに首を傾げてしまう。

コラムの冒頭で、朝日や毎日などリベラル系メディアが比較的LGBTの記事を多く取り

上げていることから、支援の側に立つ革新系に対抗したのだろうか、LGBTの人々に

とって保守や革新など政治的立場は関係ない。そもそも支援の度が過ぎると訴えているが、国会の場でさほど目立った支援活動は行われていない。

国内では、2015年に渋谷区が同性パートナーシップ条例を施行したのを皮切りに、世

田谷区でも宣誓要綱を施行し、行政機関として同性同士の事実婚を積極的に認める方

向に舵を切ったばかりだ。国会では、2016年に自民党内で特命委員会が設置され、各

党の公約にLGBT支援が明記され、自治体に遅れる形で今後、差別禁止法の制定や事実

婚などの法整備で税額控除の扱いをどうするかなどを議論できるかどうかという段階である。

多様化(ダイバーシティ)を許さない偏狭なナショナリズム(国家主義)は、包容力

をもったパトリオティズム(愛国主義)とは明確に異なる。杉田氏の主張は差別をも

たらし、敵愾心を煽るだけである。リベラルな考え方を利用する反日思想にかえって

付け入る隙を与えかねないという意味で、大いに問題のある考え方である。

ただ、残念ながら自民党には同様の考え方を持つナシヨナリストが少なくないのも事実である。

N様  
徳永です。

「LGBTが突然のごとく、我が国でも問題になったのは、2015年の月の米国の連邦最高裁判所が下したオバマ・ゲフェル判決の衝撃によるものでした。これによってそれまで限られた州でしか認められなかった同性婚が全米で認められるようになったのです。」

周知のように、この判決は4対5の僅差によるものです。日本の最高裁判事は9人ですが、米  
国連邦最高裁の判事はたった9人です。定年制はなく、終身制であり、自ら辞めるか、死ぬまでその地位にあります。同性婚認容判決は、当時、保守派が9人、リベラルが4人という構成でしたが、リーガンに任命され、保守派と目されていたケネディ判事が、寝返ったことが原因でした。

反対側に回ったロバーツ長官は、反対意見を書いています。要旨「結婚とは生殖に結びついたものであり、生物学的な観点からは、男女2人、それだけが子どもを作ることでできる組合せであり、同

性婚を認めることで結婚と生殖の結びつきを切ってしまうは、多重婚を止める理由もなくなってしまう。極端な話、愛するペットとだって、アニメのキャラクターとだった『純粋な愛』さえあれば結婚できることになりかねない」。

トーマス判事は、「多くの基本的な人権が『政府からの自由』であるのに対し、同性婚は『政府による自由』であり、前者は広く認めるべきだが、『政府による自由』を過度に認容すべきではない」という立場から反対しました。

その個人的な判決理由によって保守派から絶大な人気があったスカーリア判事は、「長らく続いた最高裁の法律論に裏打ちされた理由づけの伝統を、この判決は変えてしまった。いまや判決は、理由なんてない託宣かおみくじの類に成り果てた。最高裁の評判は地に落ちた」とまで口を極めて判決の多数意見を批判した。彼の信念は、「たった6人の最高裁判事の願いを、法律解釈に反映させてはならない。それは『エリート主義』であって『民主主義』に反する」というものでした。

それでは保守派から裏切り者とされているケネディ判事はなんといっているか。

「結婚ほど崇高な人間同志の結び付きはない。なぜなら、それは、愛、忠誠、献身、犠牲の理想を体現しているのだから。結婚によって二人の人間はさらに大きな何者かになる。そして原告が身をもって示したように、結婚は死を超えてなお続く愛を表す。彼、彼女らが結婚という概念を軽んじているというのは誤解だろう。その訴えによれば、彼らはその結びつきに敬意を表し、深く敬意を表するあまり、自身でそれを達成することを欲した。彼らの望みは、孤独を運命づけられないこと、市民社会に最も古くから存在する制度から排除されないことにある。法律の名のもと、等しく人間としての尊厳を求める彼らを前にして、私は憲法が彼らの結婚する権利を保障していることを宣言する」というものだった。

（山口真由『リベラルという病』新潮新書参照）

前半部分は結婚の崇高さを称揚する保守派が引用してもいい格調高きものだが、そんな人類最古の制度がなぜ、同性愛にも保障されなければならないのかは不明である。献身も犠牲性も、

子を生み育てるといふことと無縁ではないはずだからである。これは理想を語っているものであり、法律論ではないというスカーリア判事の批判はあたっている。

ところで、トランプ大統領の評価には保守派内でもいろいろあるように思われる。しかし、私には、急死したスカーリア判事の後継者としてトランプが、リベラルではなく、「ゴリゴリの保守とみられていたゴースタッシュを任命したことが一番重要なことだったように思われる」。

今年、85才になったルース・ギンズバーグ判事はトランプの任期中に「寿命」を全うすると見られている。「彼女」はビル・クリントンに任命された筋金入りのリベラル。その後任がコンサバ判事となれば、連邦最高裁は今の左寄りの傾向を一新するだろう。LGBTについても行き過ぎを修正するかもしれない……。

杉田水脈議員が発した「生産性」という言葉を、差別発言だとして批判する人達の感性を疑う。人類最古の結婚という普遍的な制度は、あくまで生殖と結びついたものであり、どんな文化や民族・宗教においても、それは男女の結び付きであり、次代を担う子の出生と養育の責任を内容とする結び付きだった。同性愛を保護するのは結構。しかし、それは結婚とは別の結び付きである。

新しい動きに抗するには、しっかりとした「哲学」が必要である。新しい動きにも、理論や理想があるからである。杉田水脈議員の発言のなかに、「そうした「哲学」と論理をみて、彼女を擁護すべきであり、彼女の批判者たちを、批判すべきである。自らの哲学的拠点を意識して踏ん張らなければ、いずれ時代の潮流と氾濫に流されてしまうかも知れないからだ。

「へへへ、そう思う。」

NEWS2018-07-27 12:04:00

テーマ： おひる

ブログ

杉田水脈氏の「LGBTは生産性がない」発言はいかがかと思つ「LGBTがどうこうというより、右だから保守だから自民党だから」ということよりも

私は人を「生産性」ではかるといふ感性自体が嫌だ。

私は発達障害や知的障害、身体障害の子どもたちと関わってきた。現在進行形で関わっていてもいる。もちろん重い障害の子、寝たきりの障害のある子は結婚もできないし子どもも産めないだろう。

社会の中で生きづらい子どもたちと必死に関わってきた。だから、人を「生

産性」で政治家が判断するのは間違いだと思つ

先日、長尾たかし先生の「講演を拝聴した。その時、長尾先生は、

「言葉の言い方を慎重に考えないとすべてが潰れてしまつ。」と言われた。真にその通りだ。マスキ

佐藤和夫FB  
7/25 11 時間前  
BuzzFeed.com

杉田水脈さんを応援する。

生産性と言つ言葉狩りが行われている。少子化が叫ばれている今日、普通の家庭を持つことより少数派の人達の人権を殊更取り上げ、そこに税金を投入する事は少子化の問題解決には結びつかない。税金をもっと有効に使うべきだと言つ主張は当然である。

彼女の意見が正論であるが故の言葉狩り。杉田氏は不妊治療を受けようとする人への支援は当然であると言っており、子供が出来ない人を差別しているとは言いがかりである。

今回は自民党からも杉田氏を批判する声がある。先の選挙での上位指名が気に入らないのか。それとも自分の選挙に悪影響が出る事を恐れているのか。

この問題は多様性と言つ言葉の持つ影響の深刻さである。多様性は外国人受け入れの理由にもなっている。

この多様性を言揚げる議論は日本社会が長年築き上げた伝統を破壊する。マイノリティーを許容する社会は皆天皇陛下の赤子と言つ事で当然なのだが、輝く女性社会の実現と言ひ、多様な働き方と言ひ、その事がこれまでの家族のあり方を崩壊させていることになる。にもう少し危機感を持つて欲しい。

中谷良子

杉田水脈さんへ  
2018-07-24NEWS1

テーマ：政治

自民党の杉田水脈衆議院議員の「LGBTは生産性がない」などと主張する寄稿文に關し、維新の松井大阪府知事まで出てこられ、てんやわんやの大騒ぎになっていますが、とにかく保守の方々は言わなくてもいい余計な失言で揚げ足を取られすぎていますように見えます。

杉田さんの発言は切り貼りされているだけで、前後の文章を読めば言いたいことは理解できます。なんでもかんでも西洋文化に迎合、感化されているような自身を見失った日本人が増えるのも嫌です。しかしアホのマスコミに切り貼りされ、騒がれれば、騒がれるほど、今の日本の状況下においては、自身が不利になつていくということも考えておかななくてはならないと思います。

私は本当に生まれたときから性同一障害に悩まされているといったオカマ、

「LGBTの方々は差別しません。」というより、そもそもそのような差別は日本においては「言わぬが花」ということわざにあるように、目に見える形での「差別」などというものはほとんど存在しません。もし「差別」があったとしても、それは当事者のいないところでヒソヒソ話程度で終わっています。

そして、そのようなことは反日勢力が性的マイノリティの方々と保守派を対立させ、煽り立て、国家転覆を図ることに利用されているにすぎないと私個人は考えています。

その見地に立つて言わせていただきますが、杉田さんいわく「LGBTは生産性がない」という表現は、小池百合子東京都知事の「排除します」発言と通ずる部分があり、世間の方々からは共感が得られないでしょうね。

以前、男性議員が「女は早く子を産まない」といふ発言をし、マスコミが大騒ぎしていましたが、その発言については私個人は何とも感じませんでした。今回の「生産性がない」といふ言い方は少々、思いやりに欠け、きつい表現に聞こえ、落ち度がないとは言えませんが、もっと他に表現方法は、いくらでもあったように思います。

これは杉田さんだけでなく、他の有名な保守言論人などにも言えることですが、私はサヨクの価値観、観点でものを言っているわけではなく、常々思うことは保守層には「温かみ」がなく、とても冷たい人間性に受け止めら

れていることが気がかりです。なんでもかんでも、その人の立場に立って判断することなく、上っ面の断片的な事柄で先入観や思い込みで決めつけていく方々が、ものすごく多いのでとても厄介に見えます。

今回の杉田さんの発言は、自民党という支持基盤がバックに付いているという甘えが見えます。甘えがないとこのような失言は出ないと思います。

やはり後で謝罪に追い込まれたりするような不細工な真似は絶対してはいけないと思います。これから政治家を目指す、立候補される保守と呼ばれる方々も、(私はこの呼称が好きではないのですが)この経緯をよく見ておく必要があるでしょうね。

「ご自身をトランプ米大統領と内心なぞらえているかのような発言をされる保守言論人、活動家を多々、お見受けしますがトランプ米大統領が生きてきた人生と、この狭い日本でたいした修行もしていないこと、ご自身が生きてこられた人生の中身・器をよく吟味し、発言なされたほうがいいでしょうね。生意気なことを言わせていただいで申し訳ありませんが、どれだけ威勢の良いことを吠えても上っ面のみで現在、日本でトランプやプーチンなどと言合う政治家、活動家は見当たりません。

偽物は騙せても本物は騙されません。(私個人が本物である、という意味ではありません。)

自身の足元をしっかりと見つめ、いつも国民と同じ目線でものを言われ、地盤を築く青山繁晴さんをお手本にしていたきたいですね。

ハッキリ、ズバリ主張するときには、どんなことがあっても自身の意見が絶対的に正しいと、信念に沿って心が突き動かされたときと、「ここぞ!」という時だけで良いのです。やせ我慢する政治家にだけはなっていたきたくないです。

とにかく反日勢力は、揚げ足を取ろうと躍起になっているわけですから、むやみやたらと、しないでいい喧嘩は極力避けていたいただきたいですね。それが致命傷になることだって考えられますから。

あんなアホのマスコミに足を引っ張り、神経をすり減らされるなんて悔しくないですか？

現代は戦前の日本ではなく、DHTのWDPで頭を染め上げられてしまった絶望的日本人です。その民度の視点を頭に置いて真摯に政治と向き合っていたいただきたいと思います。

オウムの死刑執行に署名された上川法務大臣同様、杉田さんは胆力もあり、慰安婦問題でも国連で大活躍された、今後まだまだ成長される有望株の女性政治家なので、これを機にご自身の発言を見つめ直し、大きく羽ばたいてほしいただきたいと思います。

私人ではなく、現在は公人という立場を意識して精進していただきたいと思えます。

杉田さんなら、きっとできます。老婆心ながら長々と駄文を申し訳ありませんが、一参考にしていただければ幸いです。陰ながら応援しています。

=====  
=====  
=====  
=====  
=====

# 今月の新聞報道・ニューズ等

「護衛艦風呂」に食糧供給で輸送艦も出動…西日本豪雨で呉市の海上自衛隊が大活躍 7/24(火) テイリー 新潮

連日、痛ましいニュースが報じられている西日本豪雨。だが陸路が寸断されていることや、広島県呉市に基地があることから、海上自衛隊が存在感を発揮している。

例えばTwitterでは感謝の声が多数確認できる。だが、その前にまずは主な新聞各紙の見出しをご覧ください。

- ◇自衛隊風呂 癒やしの湯 給水支援も 呉 西日本豪雨(中国新聞社・7/10)
  - ◇濁流が覆つ陸の孤島 断水の呉 『護衛艦風呂』3時間待ち(朝日新聞7/10)
  - ◇「海路でカソリン供給 呉・江田島 西日本豪雨」(中国新聞社・7月11日)
  - ◇「西日本豪雨 防衛省、食料供給で輸送艦出動」(日刊工業新聞社・7/11)
  - 海上自衛隊の「呉地方隊」の工口にアクセスすると、当然のこととはいえトップページには従来のものとは異なる大きなフォントで、災害支援情報が広報されている。
- 《艦艇等による入浴支援・飲料水の支援について大雨の影響で呉市、江田島が断水になったことから以下のとおり艦艇等による入浴支援・飲料水の支援をおこないます》

同工口の「支援の様子」を見ると、入浴支援は護衛艦「かが」「いなづま」「さざなみ」、補給艦「とわだ」、潜水艦救難艦「ちはや」が行っており、からす小島艦艇乗員待機所では女性だけを対象とした支援を行ったことがわかる。また、断水で水の確保が大問題となっていることから、飲料水支援も実施した。午後11時から午後1時まで、1人1リットルを上限に水を供給した。

風呂と飲料水の支援が公式サイトで真つ先に表示されるということが、被災地の大変な状況を雄弁に物語る。そしてTwitter上では入浴支援に関する感謝の声が多いようだ。

## 音楽隊も大活躍

- その一部を紹介させていただきます。
- ◇断水のため、海上自衛隊の入浴支援で使わせてもらいました！／洗濯もさせてもらって、すごくありがたいです。1週間の断水もメドが立ち、明日か明後日には水が出るらしい(7月13日)
- ◇自衛隊の入浴支援行ってきました！／待っている間に演奏してくれてすごい感動でした！／水も飲ましてくれて、久しぶりに落ち着きました。髪もしっかりと洗えてすっきり！／最高でしたありがとうございます(7月10日)
- ◇自衛隊の入浴支援待ってたら音楽流れてきて泣けた。終わったあとの暖かい拍手も夕焼けの中見える護衛艦も最高(7月6日)
- ◇こちら呉市。／海自の入浴支援サービ

スを利用して頂きました。15時半着で17時半過ぎに艦艇へ案内され、18時には入浴(シャワー)できましたが、17時の時点では4時間待ちでした。入浴はなんと！空母「かが」でした。(7月8日)

音楽に関する記述が多いのは、入浴支援に際し、音楽隊が演奏を実施しているためだ。多くの被災者が列を作り、最大で3〜4時間待ちだったという。精神と肉体の疲労を和らげようと、音楽隊が軽やかな曲を演奏したそうだ。

元海将で海上自衛隊呉地方総監も務めた伊藤俊幸氏は「深刻な災害に襲われた被災地に、呉地方隊が少しでも寄り添ってきたようです」とする。

「帝国海軍は1872年に誕生しましたが、呉は軍港として発展しました。そして1945年に敗戦を迎えますが、呉市の復興には新設された海上自衛隊も色々な意味で関わってきました。実は私が呉地方総監を務めていた際も、海自艦艇のカレーシビを公開することで、市の観光課と協力し『呉海自カレー』という当地グルメを育成したことがあります。今ではレトルト化もされて日本全国で食べられるほどになりました。このように、歴史的に市民の皆さんと海自の距離が近いことも、今回の災害支援を様々な形で表現していただいていることに繋がっているのだと思います」

被災者の救助には呉地方隊の救助犬も現場に派遣され、これもニュースとして報じられた。

「呉地方隊には呉造船修補給所貯油所という施設があるのですが、ここは約30万平方メートルの敷地があり、隊員のパトロールや防犯カメラだけでなくカバ

しきれません。そのために昔から警備犬を配置しているのですが、2008年から救助犬としての訓練も行うようになりました。犬にとって、施設への侵入者を撃退する行動と、ガシキの下などから被災者を発見する行動は、本質的には矛盾するものです。特に、匂いと音から人間の生体反応を自律的に見つけたし、その場所を人に伝えるという救助犬の行動は、極めて高度な訓練が必要なのです。しかし、長年の訓練の結果、呉地方隊の犬は、首輪を替えることで、警備犬から救助犬にスイッチすることができるようになっています。先輩たちの地道な努力の積み重ねが今に繋がっているのです」(伊藤氏)

戦争とは非常事態に他ならない。呉の海上自衛隊は、物資も人的資源も、そして対応ノウハウも蓄積してきた。こうした歴史が、災害支援に実力を発揮したというわけだ。ちなみに、隊員自身が被災しているケースも少なくないというが、その対応策も事前に策定されていたという。

「父親が隊員の場合、災害支援にかかりきりとなります。帰宅することも難しい日々です。被災した自宅に妻や子供たちだけが残るのは、二次災害を引き起こすリスクがあります。そのためにも呉地方隊では、隊員の家族を基地に向かい入れ、家族支援をします。保育園を開設するなど、女性隊員を中心に配置して対応しますし、そのための訓練も普段からしています」(伊藤氏)

今回の西日本豪雨でも、陸自も空自も含め、黙々と支援を遂行する自衛隊員が尊敬と称賛を集めている。

教科書検定基準に新規定 高校「歴史」  
偏向防止へ 文科省

2018.7.25 02:00 サンケイ

約10年ごとに改定され、平成34年度から導入される新高校学習指導要領の実施に向け、文科科学省が、高校地理歴史科の教科書検定基準に単元（学習計画の単位）やコラムなどでの題材に偏りが無いよう求める規定の新設を検討していることが24日、分かった。

近く案を示した上でパブリックコメント（意見公募）を実施、今夏にも新基準を告示する見通し。新指導要領を踏まえた32年度の教科書検定からの適用を目指す。

近現代史などでバランスの取れた記述を求める現行基準では「南京事件の犠牲者数」などの個別の記述が対象で、単元や題材などは対象外だった。

今回、単元や題材ごとの内容に拡大することで、議論を特定の方向に誘導しないような教科書作成を促す。高校の近現代史では日本をことさらおとしめる授業が問題視されており、教科書の適正化により授業改善が期待される。

=====

君が代不起立で再雇用せず 元教職員が逆転敗訴 最高裁

2018年7月19日 18時09分  
NHK

東京の都立高校の元教職員が、卒業式などで君が代斉唱の際に起立しなかったことを理由に、定年退職後に再雇用されなかったのは不当だと訴えた裁判で、最高裁判所は、東京都の判断が不合理とは言えないとして、都に賠償を命じた判決を取り消し、元教職員の訴えを退けました。

都立高校の元教職員22人は、平成18年度から20年度にかけて、卒業式や入学式での君が代斉唱で起立しなかったことを理由に、定年退職後に再雇用されなかったのは不当として、都に賠償を求めました。

1審と2審は、「式の進行は混乱しておらず、起立しなかったことだけを不当に重く扱ったのは裁量権の範囲を超え、違法だ」として、1人当たり200万円余りの賠償を命じ、都側が上告していました。

=====

「在日朝鮮人だ」虚偽の投稿放置、ヤフーに削除命令  
朝日新聞デジタル  
7/9(月) 21:44 | Yahoo!ニュース

「大手ヤフー（東京）管理の掲示板に虚偽の情報を書き込まれたとして、宮城県内の60代男性が同社に投稿削除

と慰謝料を求めた訴訟の判決が9日あり、仙台地裁の村主隆行裁判官は「虚偽の事実が記載されていると知った時点で投稿を削除する義務があった」とし、同社に投稿削除と約15万円の支払いを命じた。

判決によると、2016年2月、何者かによって、男性の実名や職歴とともに「在日朝鮮人である」という虚偽の内容が投稿された。男性はヤフーに対し、日本国籍を証明する自身の戸籍抄本などを送って投稿の削除を求めたが、応じてもらえなかった。

「あいつは朝鮮人だよ」「あいつは朝鮮人に間違いない」などと発言は敵に愾もつ。「証拠があるのか」と言いたくなる。そして、発言の信頼度が薄くなってしまう。 マスキ

=====

仏「兵役義務化」見送り、集団生活を義務付けへ  
6/29 読売  
情報提供 中谷良子

【パリ＝作田総輝】フランス政府は27日、16歳前後の国民に1か月の集団生活などを義務づける「国民奉仕」制度の計画案を発表した。マクロン大統領が昨年の大統領選の公約に掲げて

いた軍での訓練などを想定した「兵役の義務化」は見送られた。

仏国内でテロが相次ぐ中、集団生活を通じて、若者の連帯感や国民意識を高める狙いがある。今後、詳細について教育関係者らと協議を重ねたうえで、来年から試験的に導入する方針だ。計画案によると、若者は夏休みなどに集団生活を送りながら、軍の役割について学んだり、人命救助の講習を受けたりする。これとは別に、任意で参加できる軍や警察と共に行うボランティア活動なども併せて設定する。

フランスは2001年に徴兵制（10か月）を廃止している。マクロン氏が一時検討していた軍での訓練の義務化については、若者を中心に「徴兵制の復活だ」との反発が出たほか、軍の負担が増えるとの懸念も広がっていた。

=====

売名だ！ パフォーマンズだ、と言うなら言え、やれるものならやってみな！ マスキ

中谷良子のブログ  
<https://aneblo.jp/ryobato/>

維新、大阪北部地震の被災地へ見舞金2千万円  
2018-06-27

テーマ：  
ブログ

野党で本当にお仕事ができ、有言実行、国民の生活を思いやれるのは日本維新の会だけだね！

維新は、過去にも台湾地震で1000万円を寄付していたのを覚えていますが、前回も今回も、これだけ素晴らしい徳を積む行動をされていて、産経新聞の小さな見出し程度では、あまりにもかわいそうです。

メディアもハリウッドセレブが被災地に寄付すると大々的に取り上げるくせに、こと政党が見舞金を寄付すると取り上げないとは、どういふことなのでしょう。かたがたいついときだけ、放送法第4条を忠実に守っているのでしょうか。笑えます。

そして国民の役割として政治家に対し、文句ばかり言うのではなく、素晴らしいことをしている議員さんには、必ず国民がSNSで取り上げたり、褒めてあげたり、応援のメールを送ってあげたり、礼儀を尽くすことも、とても大切なことだと思います。

SNSの中に私があまの深く踏み込みたくない、繋がりを持ちたくないのは、憎悪ばかり、仲良しな顔に見える人も人を貶め合った、誹謗中傷しながら自分に酔っているような人ばかり目にし、一部を除いては、偏りすぎてろくな人間がいな世界だな、と

いるからです。そんなことばかり考え、気にしたりしていると心が荒んで嫌な人間になっていきます。

今回、私が維新に感心したのは、慈善を行うと必ず人は承認欲求や、自己顕示欲などが働き、これでもかと、ひけらかしたり、故意にメディアで大々的に拡散させたり、ツイッターで盛りげなく自慢するものですが、議員のひとりひとりが全くお手柄自慢のような動きを見せていません。

こういった動きをする人に対し、「売名だ。パフォーマンスだ」と心無い言葉を浴びせる方もおられますが、維新は言葉と行動にまだ一貫性があります。責任を持って市政を動かされているのを市民は見えています。

それに比べて地元、高槻の辻元清美は立民の議員に対し、見舞金の呼びかけなどをしたのでしょ。か高槻市長と面会して終わりかいな。そっけないなあ。

野党は台湾地震においても、大阪北部地震においても、びた一文も出さず、毎日連日モリカケ問題で国会を空転させ、日本国民の生命財産を隅に追いやり、国益を損なわせ、日本の自立を阻み、目に見える形の支援は一切せず、私腹を肥やすことばかりに熱心な無能集団、おまけに血も涙もない。

★維新、大阪北部地震の被災地へ見舞金2千万円★

日本維新の会は25日、大阪北部地震への見舞金として府に2千万円を寄付した。片山虎之助共同代表らが府庁を訪れ、竹内広行副知事に目録を手渡した。見舞金は、所属の国会議員が給料である歳費からいったん党に納めてから贈呈した。

6月26日付、産経新聞。

=====

八重山日報 6-26  
狼魔人日記より

石垣市議会は25日の最終本会議で、尖閣諸島の字名を現在の「登野城」から「登野城尖閣」に変更し「尖閣」の地名を明記するよう要望する決議を賛成多数で可決した。中国が尖閣諸島の領有権を一方的に主張する中、日本が実効支配していることを内外にアピールする狙いがある。中山義隆市長は取材に「決議は尊重する」と述べたが、字名変更の条例案を提出するかどうかは明言を避けた。

決議では、尖閣諸島の保存活用について「日本政府は領土問題は存在しないとされているが、取り巻く環境は厳しい中で何ら対策が講じられない現状を憂う」と指摘。字名の変更を求めた。仲間均氏が提案した。

-----  
仲間議員に座布団3枚！

仲間先生は弊百人の会設立時からの会員で、尖閣の番人。

尖閣に初めて上陸したのも彼です。  
マスク

=====

狼魔人日記より

2018-06-24

★

最近在京テレビを中心にして「放送メディア」の退廃が著しい。  
特定野党が繰り返す「モリカケ」をテレビが何度放映しても、内閣支持率は下がるどころか上昇機運。  
ネットの急速な普及で、マスメディアが笛を吹けば国民が踊る時代は、終わった。

そりゃ、そうだろう。  
沖縄の慰霊祭に参列した安倍首相に「モリカケ！帰れ」などと罵声を浴びせる過激派と同類項の思われるのは、誰でも嫌だ。  
良識ある国民の中に「モリカケ」に踊るところか拒否反応を起す人が増えるのも自然の成り行きだ。

☆「

沖縄戦追悼式で安倍首相に「モリカケ」ヤジ…慰霊とは関係ない政治的な動きに遺族困惑

<https://blog.goo.ne.jp/taezaki16>  
0925

狼魔人日記より



磯野教育長は答弁で「教科書のページ数の増加などでランドセルは重くなっている」と認めただうえで、「今後校長会などと連携し実態の把握を行う」と述べました。

この問題を巡っては、小学生の保護者から具体的な負担軽減策として教科書を学校に置いて帰宅するいわゆる「置き勉」の容認を求める声

▲▲▲▲▲

|||||

生徒にボコボコにされた先生。

先生は無抵抗だった。大変立派な先生だ。とは言わないでしょう。

この先生は教員をやってる限り、生徒からは信頼されないでしょう。

暴行を加えた生徒が、先生ではなく、他の生徒に対してであつたら、

この先生はその生徒を守れないということですよ。

これは理屈ではなく、感じるもの。だからこの先生はいくら正しいと言っても

全く無意味だと思います。

マスク

From: Nakaya

[mailto:kennyzoneboophysical@gmail.com]

Sent: Tuesday, June 19, 2018 9:24 PM

To: 増木 重夫

<hi00prs@oregano.ocn.ne.jp>

Subject:

【滋賀】教諭を殴る蹴る 中学生を逮捕

BBC びわ湖放送

6/19(火) 20:06 配信

叱責された男性教諭に殴る蹴るの暴行を加えたとして、近江八幡市の男子中学生が逮捕されました。

暴行の疑いで逮捕されたのは、近江八幡市に住む中学2年の男子生徒です。

警察によりますと、生徒は今日(14)日の午後3時ごろ、授業中にCDデッキから

大音量で音楽を流して授業を妨害し、これをとがめた男性教諭(39)に対して左のほほを殴ったり尻を蹴ったりするなどの暴行を加えたということです。

翌日に教諭が被害届を提出しました。警察の調べに対し、生徒は容疑を認めているということです。

https://headlines.yahoo.co.jp/h1?aid=20180619-00010003-bcbiwakow-125

|||||

寝ぼけたこと言うな。バカヤロ!

スクランブルが最優先に決まってるやろ。

スクランブルって、儀式? 訓練?

違うやろ、戦争を前提にした作戦行動やろ。

「緊急」って何? ルール? 何のためのルールや。

緊急発進機に「待機」?

攻撃された後からゆっくり発信するわけ?

こんなボケた管制官、今すぐ首を切れと言いたい。

ルール通りに対処したのだからうけど。

マスク

空自機進入、着陸妨げる 「民間機、遠かった」 那覇空港 2018年6月17日5時0分 朝日

画像・航空自衛隊のF15戦闘機

沖縄県的那覇空港で14日夜、航空自衛隊のF15戦闘機2機が管制官

の指示に反して滑走路に進入し、着陸態勢に入っていた民間機を妨害する

トラブルがあった。関係者によると、戦闘機の操縦士は「民間機を視認し、

遠い(ので先に入れる)と思った」と説明しているという。国土交通省は深刻な事故につながりかねない重大インシデントに認定。運輸安全委員会が

16日、調査を始めた。

国交省や防衛省によると、戦闘機2機は14日夜、領空侵犯の恐れのある

航空機への対処のため、緊急発進(スクランブル)の指示を受けて滑走路に

向かった。管制官は2機に対し、滑走路手前の誘導路上で待機するよう指

示したが、2機は午後8時25分ごろ、

相次いで停止位置を越えて滑走路内に進入した。

-----

当時、滑走路の約5キロ手前では民間機の琉球エアコミューター80

4便(ボンバルディアDH8-40

2型、乗客乗員35人)が着陸態勢に入っていた。管制官は危険を回避するため、戦闘機に滑走路離脱を指示するとともに、民間機の着陸許可を取り消した。

関係者によると、1機目の戦闘機の操縦士は防衛省の調査に「管制官の指示を明確に認識していなかった」と説明。民間機を自ら視認し、先に離陸できると判断したとみられるという。後続機の操縦士は停止指示を認識していたが、1機目が進入したため自身が進入指示を聞き逃したと思い、続いたという。

管制官は離脱を確認後、民間機に改めて着陸を許可。午後8時27分に着陸した。けが人はなかった。

(伊藤嘉孝、編集委員・土居貴輝)

■対中、緊急発進が急増

那覇空港は民間と自衛隊との共用空港。今回のトラブルは、スクランブルに向かう空自の戦闘機が起こした。近年、東シナ海で中国機の領空侵犯を防ぐためスクランブルが急増。2000

年代はおおむね数十件で推移していたが、16年度は803回に及んだ。

「スクランブルは1秒を争うため管制官に優先的に対応してもらっている」(防衛省関係者)といい、こうした背景から、戦闘機側が民間機の着陸を待たずに滑走路に入れると誤認した可能性もある。

また現在は1本しかない滑走路を、離島便や国際便、陸海空の自衛隊機などの様々な航空機が行き交う。スクランブルの急増は、ただでさえ過密な発着に拍車をかける。3年前には、空自のヘリが管制官の指示を誤認して滑走路を横切り、着陸滑走中の民間機が急ブレーキをかける事態に陥った。第2滑走路を建設中だが利用開始予定は20年。防衛省関係者は「もう一度、基本動作を徹底しないと重大事故につながりかねない」と危惧する。(古城博隆)

空自機進入、着陸妨げる 「民間機、遠かった」 那覇空港・朝日新聞デジタル  
<https://www.asahi.com/articles/DAS3S13543965.html>

|||||

だれの責任か。児童相談所の責任強化。社会からの孤独……。フザケルナ！ すべて日教組、左系の責任。

学校で「権利」「権利」「権利」。「義務」を死語にした日教組の責任ではないか。母親は自分の命に代えても子を守る「義務」がある。

こんなことになるくらいなら、こんな目に合わせるなら私のところに連れてきてほしかった。

良いものは食わせられないが。

尾木ママのブログを反吐が出る思いで見た。「権利」という単語抜きで文章が書けないのか。

マスク

「これまでどんだけあほみたいにあそぶってあほみたいだからやめる」…って、5歳の子供を遊ばせないだなんて一体何ですか！？

(それにしても、貧しげなアパートですな。) ←

「パパ、ママ、もうおねがい ゆるして ゆるしてください」 東京・目黒

の虐待死女兒、生前に悲痛な手紙  
 2018.6.6 14:42

結愛ちゃんが暮らしていたアパート  
 3月、東京都目黒区

東京都目黒区のアパートで3月、船戸結愛ちゃん(当時5)が、父親の船戸雄大容疑者(33)からの暴行直後に死亡した事件で、結愛ちゃんは自宅に手書きの文章を残していた。警視庁が明らかにした文章の内容は以下の通り。

◇

ママ もうパパとママにいわれなくても

か しつかりじぶんから きょうより



の中に踏み込むことで配慮が足りない。また、生命の誕生につながる妊娠を性交のリスクのようにとらえてよいのか」と疑問視する。

「行動慎重にさせる」

一方、学校で性教育の出張授業などを行うNPO法人ピルコンの染矢明日香理事長は、「発達段階に応じた科学的な情報を伝えることが性行動を慎重化させるという研究結果が、ユネスコの『国際セクシュアリティ教育ガイドランス』などに示されている」と話す。

授業では学校側の要望も踏まえ、妊娠や避妊の正しい知識を持つ大切さを伝えてきた。授業後、生徒からは「多くの間違った知識が出回っているので冷静に読み取り、判断していくことが大切だと分かった」（中3男子）、「大切な話が聞けてよかった」（中3女子）といった声が挙がる。

高校生約4千人が回答した平成28年のアンケートでも、「今後、妊娠を希望しないときは必ず避妊が実行できる」と答えた人は、授業前の44%から授業後には67%に増加したという。「対応考える契機に」

厚生労働省の調査では、13年ごろから人工妊娠中絶の実施率は全年代で低下傾向にあるが、28年度には15〜19歳の女性1千人当たり5・0件の中絶が行われた。

15〜19歳の実施率が全国の数値を大幅に上回っていた秋田県では、12年度に高校生を対象に医師による性教育講座を開始。16年度には中学生にも対象を広げた。実施率は年々低下し、22年度以降は7年連続で全国の数値を下回る。

東京都の小池百合子知事は4月27日の定例会見で、「学校で教わる以上のことが世の中にあふれ、アクセスできる状況は由々しきこと」と指摘。その上で、「教育委員会や学校現場がどこまで何を教えるか、しっかりと対応策を考えていただくきっかけでもあると思う」と述べ、今後の議論の発展に期待を寄せている。

「性的接触をしない」ことや、高校で避妊や人工妊娠中絶について学ぶが、高校においても性交渉については詳しく触れていない。

学校の先生は、校門をくぐったら帰るまで一言もしゃべらないこと。それが御身大切に、の極意！

「頭にボール当たったら死ぬぞ」野球部監督謹慎  
2018年05月11日 14時31分 読売

金沢龍谷高校（金沢市上安原町）の野球部で4月、1年生の男子部員に対し、男性監督（40）による不適切な言動の指導があり、同校が男性監督を謹慎処分としていたことが10日、わかった。

石川県高野連を通じて事態を把握した日本学生野球協会は11日、審査室会

議を開いて同校への正式な処分を決める。

同校によると、4月1日午後、ノックの練習中に、男子部員の集中力が欠けていると感じた男性監督が「ボールが頭に当たったら死ぬぞ」などと発言した。言動にショックを受けた男子部員は翌2日から練習を休み、母親が同校に経緯を説明した。男子部員は現在も不登校の状態が続いている。

学校側は男性監督や他の部員、母親から事情を聞いた上で、「発言は生徒の命を守るためのものだったが、言い方が部員に不安感を抱かせる不適切なものだった」と判断。4月4日から男性監督を部活での指導を禁じる謹慎処分とし、同月7日付で県高野連に報告した。男性監督は同校の調査に「子どもたちのことを考えて発言すべきだった」と反省しているという。

同校の山本正彦副校長は読売新聞の取材に対し、「生徒の特性を十分に理解し、配慮のある指導に努めるとともに再発防止に取り組みたい」と話した。



# 杉田謙一の歴史。歴史研究室

## 尊葬の記

<https://plaza.rakuten.co.jp/seimeisugita>

道徳の徳目を月ごとに決めて学年としてとりこんでみえる。

理想の実現・心身の健康・畏敬の念  
2月  
人類愛・涵養、謙虚・郷土愛・正義  
3月  
愛国心

### 道徳指導案年間計画 (中3)

4月

礼儀・愛校心・人間性への信頼

5月

集団生活の向上・友情・信頼・健全な異性観

6月

自律の精神。向上心・勤労、遵法の精神。

7月

強い意志・誠実・責任

9月

愛校心・生命の尊重・遵法の精神・家族愛・

10月

礼儀・社会連帯の精神・国際理解・人類愛・節度と調和・

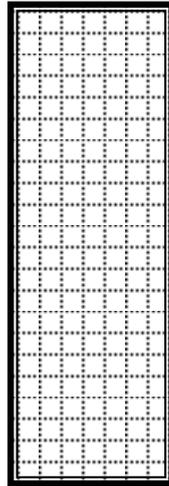
11月

理想の実現・涵養、謙虚・自然愛、人間愛

12月

人間愛・勤労・人間性への信頼

1月



018.08.24



## 道徳の授業の完全実施

を

! new

### カテゴリ：カテゴリ未分類

公教育での人間形成のための指導の基礎が道徳の授業。先生がたはいかにして子供らに体得させるべきかを様々に研究し、実践くださるが、その中核をなすのが「道徳」の授業である。

そのための指導用書籍は市によってあるいは地域によって様々につくられ実践されてきた。岡崎では「明るい心」明るい人生」との題名での教科書を使って指導していた。数年前に日々の反省ノートが全国一斉に作られ配付され、教材も配布となり、いよいよ来年からは正規な道徳教科書として他の教科書と同様に教育委員会による採択作業を経て正規な授業形式で道徳指導が始まっていく。

今までのように保護者負担で購入した教材ではなく教科書無償化の対象となる為、出版社は異なるが、必ず道徳教科書として子供たちに渡され、それをういて道徳授業がなされなくてはならなくなる。

今までの現実には「道徳の時間」の枠はとってあるが、現実、学級会に変わった運動会文化祭の準備に充てられたり学年指導・リクレーショ

ン・球技大会などに代わっていたりしたのが是正され、独立して必修教科とされる。もし道徳授業が何らかの行事に変えられたとしても振り替え授業をなさなければならぬ対象時間となる。

道徳教科書を開いての授業が義務となるのである。

当然ながら教師は他の教科同様に指導案を作成して導入展開発展の形で指導をなして行くことになる。つまり今までは「日常の指導で道徳指導をしている」とか「掃除の実践を通して奉仕の心の体得を語っている」などの言葉で道徳指導の振り替え成り代用としたと、弁明される場合もあったが、これはこれ、道徳の授業は授業としてなさねばならないし、「権利教育」だけ、あるいは「平和教育・反戦教育・差別問題教育」だけに特化する「道徳教育」を是正することができるのである。

授業参観などでも基本いずれかの教室では「道徳教育」も組み込まれていられるでしょう、いや校長に見学を要請することもできましよう。

まずは道徳の授業を事あるごとに話題にし、学校現場に関心を高めてもらわねばなりません。

=====

AAAAAAAA

2018.08.16

XML

草莽の記 満蒙開拓団でこんな悲劇があったのか

<https://pazarakuten.co.jp/seimei-sugita/diary/201808160000/>

朝日新聞が満蒙開拓団の引き上げ時にソ連やチャイナの異邦人のため若い娘が自分の体を投げ出さしめられたとの報道をなした。同胞を守るため慰安婦として差し出された哀しみの体験報道国が敗れることの悲しみの現実を国民として深く知っておかねばならない。これらは大畜生なみの野蛮な国家や民族のなした大犯罪。犠牲になられた婦女子の実際を国は把握し、何らかの救済措置を講ずるべきでありましょう。

長野県の阿智村にある満蒙開拓団の記念館に行ったことがある。その時の案内で反軍的・反政府的な発言がありおやっと思っただけであった、その時こそして今日まで、こつした悲劇があることをわたしは知らなかったが現地の

人々は知ってみえたのでありましょう。それであの言葉があったのかこの報道を見て思った。

悲惨な体験があったことを押し量りず、勝手な思い込みでいたことを反省したい。

とはいえ、ベトナム戦争時の韓国軍人がなした婦女子への暴行とライタンハン問題を棚上げし、売春を強要させたこと両親への恨みを女術に向けるのではなく日本軍を統率する日本政府へ向けさせている韓国政府の無責任さは許しがた。日韓の慰安婦合意を踏みにじって慰安婦への感謝の日まで韓国国会が制定しているのは情けなき道義違反。

毎年8月14日を「日本軍慰安婦被害者をたたえる日」に指定するなど全く許しがたき日韓合意違反である。事実上元基づかない責任を日本が認めたことに問題の根源がある。日本政府は嚴重抗議すべきであるとともに今現在も日本国内で違法な売春行為を行っている半島出身者には善意の摘発をかけ、職業を変更の指導を成すべきではないか。

大目に見ればまた同様の理不尽な主張で国が賠償を求められる危険性が高いであります。

=====

2018.08.09



## 長崎原爆投下の日/ソ連

## の対日侵略の開始日 鎮

## 魂を祈る。

### カテゴリ：カテゴリ未分類

今日は長崎原爆投下の日でもありソ連の対日侵略の開始日でもある。

巨大国家米ソの違法行為を象徴する人類にとつての最大の負の歴史の当日。博愛に生きる日本人にとつてもこの日ほどつらく情けなき日はないと言つてもよからう。

対日戦終結に際してアメリカは当初ソ連を引き入れようとした

ヤルタの密約においてヨーロッパ戦線の終結後、ソ連参戦は決定されていた。ソ連は日ソ中立条約を結ぶ日本の終戦仲介要請を受け入れた。しかし老獪なるソ連は、連

合軍側について漁夫の利を得るか、日本に恩を売り利を取るか。いずれにせよ巨万の富を得ることができる立場になった。

参戦により「外モンゴルの現状維持」「満州におけるソ連の権益を回復」「大連港を国際化」「南樺太の奪還」「千島併合」の五項目要求をなし、それができれば連合国に加入する道、またもつとよい条件で、しかも犠牲を少なくして領土を手に入れば日本の肩を持つて仲介の労をとる道。何しろ日清戦争後の三国干渉では労せずして、脅すだけで遼東半島を手にした体験を持つ国だ。

日本は仲介の返事を律儀に待っていたのであるが、待てど暮らせど返事がない。そうこうしているうちにポツダムでの会合が開かれることに。スターリンも参加し、日本の要請を実施するか否かはそれからきめるとした。

ついにポツダム宣言が出されることになる。ソ連はあせった。終戦工作に乗り遅れては元も子もない。

その中で8月6日、ついにアメリカは原爆の人体実験を日本でなしたのだ。これで日本の敗戦は確実。アメリカはソ連の参戦を得ずして日本を敗北にいたらしめることを確信。しかしウラン型原爆の十分な成果が実証できてもまだプルトニウム型原爆の人体実験が終わっていない。人道主義など彼らの頭になく、もう一つの原爆武器の人体実験ができるのは戦争終結前の今しかない。

同様にソ連は日本の降伏を恐れた。まだ侵攻準備が整わない。その前にやめてもらっては取れる部分がない。

日本からの降伏条件問い合わせにソ連はなるべく答えさせず、時間稼ぎをなした。天皇条項や海外にいる将兵の速やかな帰還計画などの問い合わせである。

返事がごまかすと知った日本は再度質問。こうした中でついにソ連は対日参戦準備が前倒しで整い、8月9日、ついに念願の参戦を実行し、満州国、樺太南部、朝鮮半島、千島列島に侵攻した。

日本は人類史上最大極悪な原爆実験被害国になり、同時にそれまでの調停国に裏切られて攻撃を受ける二重の非道を体験するのである。そしてそれらはアジア民族に対する凶暴な白人文化の非道極まりない最大の悪行であり、独善的な超大国のコアなる思想の本質を暴露するものであった。

以後日本は矛を収め、ソ連軍に降伏。この際の不幸な許しがたきソ連兵の暴行は三ヶ根山の「お町の碑」や故神谷幾郎先生らが作って慰霊されている「土魂碑」などに詳しい。千島北端の占守の戦いは戦後、8月18日からいしされた武力戦である。豊橋向山ご出身の池田戦車隊長らの決死の特攻によりここで一週間食い止めたため、北海道占拠は食い止められたのである。

占守島での戦いはソ連側死傷者数は日本側死傷者約1018名、ソ連側約1567名。日本が勝っているのだ。このとき神谷氏は戦車の故障で動けず無念の捕虜となられた。その同僚に対し、毎月名古屋からお見えになって慰霊されていた。

占守島の生存者はもう2・3名しか見えないという。

先日、そのおひとり、九五歳の野田肇氏に友人の中川法宏氏と小倉氏がインタビュウに行ってください。記録映像を取られたのこのと、早く見てみたいものだ。思い返してもソ連ロシアの非道は目に余る。

日本降伏後、彼らはポツダム宣言に違反して60万いや一説によれば八〇数万の男や女をシベリアに幽閉し過酷な労働に従事させた。死者は6万人というがおそらく20万人を下らないとの調査報告も報告されている。

北方領土にて大演習をしたり、北海道の一部北方領土で軍事演習を始めてもいる。彼らは9月2日ミズーリ号調印の日を対日戦勝記念日と定めた。

事務所に弔旗を掲げ、原爆投下とシベリア殺戮によって亡くなられた皆さんの鎮魂を祈った。

×  
ヴェノナVenona 文書報道に期待  
カテゴリ・カテゴリ未分類

夜中、テレビをつけるとたまたま開戦前、政府からハワイに派遣された日本の青年を主人公にした番組放映があった。かれは名を変えて諜報活動に従事。いわゆるスパイ活動を行っていたのである。

その番組の中で、開戦時、アメリカ政府の中に200名のソ連スパイがいたと報道がなされていた。またはい大統領は開戦前に日本への空爆を仕掛ける作戦に正式なゴーサインを出していたことも報じていた。日本から仕掛けさせる方針にこだわることになり100パーセント日本が飲めないハルノート突きつけ、日本からの攻撃を待つ先方に切り替えたため、実現はしなかったが。

それらの根拠がヴェノナVenona文書の解読。

これは、1943年から1980年まで37年間の長期にわたって、アメリカ合衆国陸軍情報部とイギリスの情報機関が協力して行ったソ連と米国内に多数存在したソ連スパイとの間で有線電信により交信された多数の暗号電文を解読する極秘プロジェクトの資料集。

僕らがいくら語ってきてても、人はなかなか理解しようとはしない。しかし映



## 3. 合祀の経緯

1975年まで天皇陛下は靖国神社にご親  
拜を行われていた。

1976年三木内閣が敵の内政干渉に屈服  
しご親拜を停止した。

1978年..そこで心配された昭和天皇は  
松平宮司に相談し、「義士の合祀を」  
裁可され  
たのである。

靖国神社の祭祀は天皇陛下の  
権限で行われる。宮司が決める事では  
ない。こ  
れは常識だ。

この問題では、誤解と謀略があるので  
愛国者はよく理解し、国民に繰り返し  
広める必  
要がある。

以上

-----Original Message-----

From: NP0 法人百人の会

[mailto:1100prs@regano.ocn.ne.jp]

Sent: Tuesday, August 07, 2018 1:45

PM

To: mochiai@sea.pala.or.jp

Subject: 草莽の記 古賀誠元自民党幹  
事長発言への抗議

2018.08.07

MAIL

古賀誠元自民党幹事長発言への抗議

カテゴリ・カテゴリ未分類

もう不要な過去の方の論がまた出され  
たようだ。産経によれば

日本遺族会会長を務めた古賀誠元自民  
党幹事長は6日のBSフジ番組で、靖国  
神社に

合祀(こうし)されている「A級戦犯」  
について、祭った事実をなかつたことに  
する

「廃祀」とするよう提案した。「合祀が  
宮司の一存でできたなら、廃祀も一存で  
でき

るのではないか。そういう環境を期待し  
たい」と述べた。

古賀氏はこれまで、東条英機元首相ら  
いわゆるA級戦犯を祭られる対象から  
外す分

祀を主張してきたが、靖国神社側は分祀  
を明確に否定している。

後略

日本の主権回復後の戦争犯罪人の取扱  
いについては、1952年4月28日発効の  
日本国と

の平和条約(サンフランシスコ講和条  
約)の第二条に規定されている。

第二条(戦争犯罪)

日本国は、極東国際軍事裁判所並びに日  
本国内及び国外の他の連合国戦争犯罪  
法廷の

判決を受諾し、且つ、日本国で拘禁され  
ている日本国民にこれらの法廷が課し  
た刑を

執行するものとする。これらの拘禁され  
ている者を赦免し、

減刑し、及び仮出獄させる権限は、各事  
件について刑を課した二又は三以上の政  
府の決

定及び日本国の勧告に基くの外、行使す  
ることができない。極東国際軍事裁判所  
が刑

を宣告した者については、この権限は、  
裁判所に代表者を出した政府の過半数  
の決定

及び日本国の勧告に基くの外、行使する  
ことができない。

1950年代には、これに基づき「日本国  
の勧告」すなわち、国内外で収監され  
ている戦  
犯の赦免や減刑に関する以下の国会  
決議が採決されている。

1952年6月9日参議院本会議にて  
「戦犯在所者の釈放等に関する決議」

1952年12月9日衆議院本会議に  
て「戦争犯罪による受刑者の釈放等  
に関する決  
議」

1953年8月3日衆議院本会議にて  
「戦争犯罪による受刑者の赦免に関  
する決議」

1955年7月19日衆議院本会議にて「戦  
争受刑者の即時釈放要請に関する決  
議」1952年

(昭和27年)5月1日、木村篤太郎法  
務総裁から戦犯の国内法上の解釈に  
ついでの変更

が通達され、戦犯拘禁中の死者はすべ  
て「公務死」として、戦犯逮捕者は「抑  
留又は

逮捕された者」として取り扱われる変  
化が生じている。



産経によれば

「改憲阻止」大会 後援を中止 川崎  
市教委「政治的中立に疑義」

川崎市教育委員会が、憲法改正「阻止」の内容を含む「教育科学研究会・全国大会」の後援をしていた問題で、同市教委は27日、後援を取り下げた。「政治的な主義・主張が含まれ、中立性に疑義が生じると分かった」としている。

後略

恥かしながら昨年愛知西尾市ではあの文科省を率いてきた面従腹背次官の講演会に西尾市教育委員会が後援を付けた。すぐさま抗議をして撤回を迫ったが教育委員会の教育の中立性に対する意識は極めて低く、地元で教育活動をされている団体の熱心さに同調され、前川氏への発言への警戒感が全くなかったのであります。未成年女子との交遊問題や、違法な天下りによる処分者であることもお構いなしに、後援したのでした。安倍総理批判に終始した講演内容についても問題意識すら感じないようです。七〇パーセントほどが政治問題。総理蔑視の講演表現に聴衆と一緒に笑って話を聞いていたのかと疑いたくほどの御認識。事前にわたしが抗議していたので教育についても語るようにと講演途中で司会者が講師の講演を遮って、教育問題を語るように要請され、やっと残りの一五分ほどに教育をテーマにされた話になった。しか

しその主張も、道徳教育愛国心教育よしのLGBTへの理解推進教育をすべきという主張なのであった。つまりレスポラン(Lesbian)女性同性愛者。ゲイ(Gay)男性同性愛者。バイセクシュアル(Bisexual)両性愛者。トランスジェンダー(Transgender)自身の性と心の性が一致しないが、外科的手術は望まない人らへの偏見をなくす教育を優先すべきとの主張。

もう驚いたが、言論の自由は一市民ならあろう。しかし教育委員会が推奨する主張とは思えない。

西尾で止めえなかったためか彼の講演活動は名古屋の公立中学生に授業としておこなわれ、今夏は私学の高校生の研修会にも呼ばれたという。前川氏を呼んだ、三月末退職の中学校長も同様にこの研修会の講師を勤められた。

左翼的な講師陣の一員として前川氏同様、この元中学校長も私学協会から認められたのであります。

教育は政治的に中立でなくてはならない。教育委員会は特に市民の負託を感じなくてはならぬ教育の中核。現場教師の真摯な教育を否定するような行為は慎むべき。

川崎教委の使命感に深く敬意を表したい。

|||||

2018.07.27

XNML

薩長だけで明治国家は生まれなかった。カテゴリー：カテゴリー未分類

明治維新の実現には幸運が大きく作用した。

巨大な軍事力を背景にペリーを差し向けたアメリカやプチャーチンをよこして領土をかすめ取るうとしたロシア。薩長と幕府の対峙に武器を渡して利を得ようとしたイギリスとフランス。これら列強のはざままで我が国は明治維新前の激動の時を迎えていた。開国を余儀なくされた幕府は1858年にはハリスに押し切られ五港の開港を決め、ロシアからはプチャーチンの強要に苦難を強いられていた。

フランスイギリスの二国。これもきわどかった。幕府を支援するフランス、薩長に武器を流すイギリス。戊辰戦争の勝者がいずれであろうと我が国の政権は外国勢力の支配下に置かれる危機の中にあった。

しかしアメリカロシア両国とも国内外で苦難の時を迎えることになる。

アメリカはリンカーンとリー將軍とのバトル南北戦争が勃発、ロシアはクリミア戦争で敗退し農奴解放を余儀なくされるなど国内の治安維持が苦しくなっていたのであった。

残るは英仏の二か国。これも江戸城総攻撃がなされてしまったらどうなっていたことか。交渉を平然と為すのであります。

ロシアはペリーハリスを上回る強権。プチャーチンはこの機に、樺太どころか千島の択捉以北を我が物にせんとたくらみ難題を押し付けてきていた。日露国境、和親通商についてロシア側は軍を背景に強圧外交を仕掛けてきた、

ロシア側が老中の公文書を引用して日本に通商の意思ありと指摘、そのためには国境の画定を要求。その境界は樺太はすべてロシア領。千島は択捉以北をロシアに譲渡せとの要求である。

この交渉方は幕臣川路聖謨(せいぼ)。ロシアの要求に一步も譲らずタフな外交をするのです。プチャーチンの要求には即座に反論し、逆にゴローニン(ゴロニン)の著書を引用して見せ、択捉島が日本の領土であることを主張。これを飲ませ、樺太も日本側の樺太調査の歴史を紹介して反論雑居地として両国の共有と納得させたのです。そして日露和親条約の締結を成すのでした。これは当時の国力や倒幕運動という国内事情からみて満点に近いものだと思います。

吉田松陰が密航を企て、佐久間象山が吉田を唆した疑惑で逮捕されると、江

戸町奉行所では死罪も検討されていたが、佐久間と親交のあった川路が、阿部正弘に軽い処分を済むように直訴して、阿部の横槍が入り二人とも死罪を免れる。

ロシア側の要求を巧みにかわし、最終的には将来日本が他国と条約を締結した際はロシアにも同様の条件を与えることのみ炯眼を約束して引き揚げさせることに成功、プラカシ策の方針を守り抜く。このとき、川路の知的な対応に対し、プチャーチンは、「彼は私たち自身を反駁（はんぱく）する巧妙な弁論を持って知性を閃かせたもの、なおこの人物を尊敬しないわけには行かなかった。彼の一言一句、一瞥（いちべつ）、それに物腰までが、全て良識と、機知（けいがん）と、練達（れんだつ）を顕（あらわ）していた」と賞賛を贈り、川路も彼を「豪傑」と評し、また、プチャーチンに同行していた秘書官で作家のゴンチャロフは、川路の容貌について、「年の頃45歳くらい大きな褐色の目をした聡明機敏な面構えの男」と評価する。なお、川路は無事に役割を終えて江戸に帰還すると、下田表取締江戸掛に任命され、日米和親条約の締結に伴い、ロシアとの間にも同様の条約を結ぶ必要が生じ、引き続きロシアとの交渉の担い手となる。

また、同年3月吉田松陰が密航を企て、佐久間象山が吉田を唆した疑惑で逮捕されると、江戸町奉行所では死罪も検討されていたが、佐久間と親交のあった川路が、老中阿部正弘に軽い処

分で済むように直訴して、結果二人とも死罪を免れもしました。

また勝海舟と西郷隆盛の会談により江戸城総攻撃が中止となり、新政府と旧幕府の全面衝突が回避された翌日、川路は儀礼的に切腹した後、拳銃自殺をして將軍へのわびを成しつつ人生を終えたのでした。

こうした人物が幕府側にいたことを忘れてはならない。維新側が有能で、幕府が無能など単純な見方で歴史を安直に解する見方には違和感が大きい。家康の生まれ地岡崎人としては。

いずれにせよ、川路なくんはこの時点で北方領土もロシアのものとせざるを得なかったでしょう

|||||

7月26日の憂鬱

2018.07.26



## 7月26日の憂鬱



カテゴリ：カテゴリ未分類

7月26日の憂鬱

ABC包囲網との言葉で日本への経済封鎖が語られる。「ABC D」とは、貿易制限を行っていたアメリカ合衆国 (America)、イギリス (Britain)、中華民国 (China)、オランダ (Dutch) の各国の頭文字を並べたものである。その発動の日が昭和16年7月26日。

米国は日本の南部仏印侵攻をもつて日本**資産凍結**を発表したのであった。

米国の対日攻勢をねらったオレンジ計画の発動の日でもある。歴史学者 **秦郁彦** 氏は、イギリスやオランダの領地が日本に攻撃されたとき必ずアメリカは参戦すると密約があったとされる。ワシントンとシンガポールでその会議は行われ、その報告書は「ABC-1」、「ADB-1」と呼ばれ、「レインボー5号」になったとされている。

すでにアメリカは昭和14年の同日、7月26日、ルーズベルト政権のコーデル・ハル国務長官が日本**の堀内謙介駐米大使をワシントンの国務省に呼び、「日本の中国侵略に抗議する」として日米通商**

航海条約の廃棄を通告していた。なぜに年は違うが同日なのかはわからない。

米国は以後、必死に日本からの攻撃の事実を創り出そうと必死になり、厳しい条件を日本に突きつけてくる。

東郷外相の手記に「ハル公文はアメリカ当局の予想によれば、交渉が決裂して戦争になるとして万事を準備したのち、日本側の受諾せざることを予期したものであって、日本に全面降伏か戦争かを選択せしめんとしたものである」とあるごとく、完全なる宣戦布告文。日本を戦争に引つ張り出すのに必死なのである。正にやくざの因縁付けのようなもの。当時のアメリカの横暴は許せるものではない。

石油を求めてオランダ領インドネシアを制圧した日本軍の戦いは実に見事。今村均閣下の仁政は大東亜解放の理念を忠実になした見事なもの。マレー半島とインドネシアのBDの降伏が成ったこの時点で終戦工作が動き出していたなら、「」までの悲惨は無かったろうに。しか

し米国の野望貫徹の前には持たぬ  
 国の国力ではいかんとも仕方なかつた。残念至極です。

更に7月26日はポツダム宣言の  
 出された日。

これに先立つ一九四五年七月十二  
 日、日本は、ソ連に日本とアメリカとの  
 和平を仲介を要請するため、  
 和平案を近衛文麿に作成させた。

「和平交渉の要綱」

日ソ不可侵条約を順守していた日  
 本がソ連に仲介を頼むのは理に適  
 う。しかし野望を持つ彼の国では  
 相手が悪すぎた。

和平案に対するソ連の回答は、「  
 具体的内容がなく、回答できない」  
 というもの。この直後、米英ソの  
 ポツダムでの会談があり、ポツダ  
 ム宣言がされたのでした。

開戦前クリミア半島ヤルタで開  
 かれた、通称、ヤルタ会談でアメ  
 リカ大統領ルーズベルト、イギリ  
 ス首相チャーチル、ソ連首相スタ  
 ーリンとの間ですでにソ連の対日  
 本への宣戦布告が話し合われてお  
 り、スターリンは、全満州、朝鮮  
 半島の北半分、樺太、千島列島の  
 ほかに北海道の北半分を占領する  
 考えを持っていたのだ。

「海外にいる日本人を速やかに返  
 す」「領土的野心は持たない」な  
 どの条件をポツダム宣言ではうた  
 っている。しかし天皇存在の在り  
 方も含め、疑問が多く、何度も質  
 問を成している最中に原爆人体実  
 験大量虐殺がなされた。ソ連は広  
 島原爆を見て対日参戦を成す。略  
 奪、暴行、殺人など悪の限り非道  
 の限りを尽くした。領土をしこた  
 ま手に入れ、シベリア抑留までも  
 成した。

かかる非道はたとえ敗戦したとい  
 えども許すことはできるものでは  
 ない。

|||||

皇をおおびになられて感謝のお祭りを  
 成された。歴代の天皇の御祭りも春季秋  
 季皇霊祭においてひたすらお祭りにな  
 られる。日本歴史のたった7・80年前  
 の英霊への感謝、慰霊祭が民間でなされ  
 なくなるのはあまりにつらくはないか。

三ヶ根にも多くの慰霊碑がある。愛知に  
 は他に陸軍墓地が名古屋と豊橋の2か  
 所ある。護国神社も。僕らはその清掃奉  
 仕や参拝を成し続けるつもりでありま  
 すが、「」眠られる方々は自然死され  
 た方なのではない。国や郷土の要請を受  
 けて戦地に赴かれ有無を言わずに散華  
 なされた方なのです。

英霊の御祭りは後継者たる自衛隊やそ  
 のOB、首長や議員や自治会長などの要  
 職を務めてくださる方の責任でなすべ  
 きことではないのでしょうか。確かに上  
 官で戦後自決なされた方も数多い。生き  
 残られた方も多くは語らず黙々と慰霊  
 にいらつしやりもされた。生きて世に貢  
 献なされた方も多い。

しかしあの時すべてを失おつとも日本  
 を守り切ると決意成された英霊。大東亜  
 解放の礎として唯一の命を投げ出され  
 た年若き英霊の皆さんは今も言葉を発  
 せられないのです。人生をあの瞬間に失  
 われたのです。その思いを、最大の愛を、  
 祖国と大東亜の安寧のためにささげら  
 れたその願いを、忘れ去つたり嘲笑した  
 りなど、これでよいのでしょうか。

4月28日はサンフランシスコ平和和条  
 約発効の日。占領の終結の日であります。  
 占領史観に捕らわれて米英の植民地と  
 して安寧をむさぼろうとしてよいわけ  
 はありません。

今一度、祖国の自立永続のために身命を  
 賭して逝かれた英霊の御霊に手を合わ  
 せて、祖国再建の思いを固めたいもの  
 です。

尚

翌4月29日には三ヶ根山で殉国士  
 奉賛会主催で慰霊祭が開催されます。午  
 後1時より。昭和天皇の生誕の日です。

また年内に改憲発議と国民投票がな  
 される予定と聞きます。国民の英知を  
 結集して日本の自立を勝ち取る戦後  
 最大のエポックです。

日本人として初めて憲法の改変にか  
 かわれる時が近づいているのです。大  
 いに議論して外国勢力の手から離れ  
 た改憲を成したいものです。

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPO 法人百人の会

●第33(通算100)回定期理事会

平成30年度総会

平成30年5月 日(土) 1時半～

サムディフエイム新大阪 4F-E

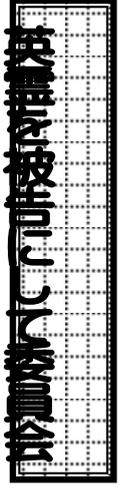
◎公開勉強会等の予定・検討中

【理事会】2～3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は理事の方はもちろんのこと一般のご出席も大歓迎です。

模擬爆弾跡慰霊と視察

計報 朝丘雷路さん

4/27 死去



【東京】●控訴審日程決定

・第1回口頭弁論 東京高裁

H30-4-27(金) 13:30～

(12:50 随傍聴抽選)

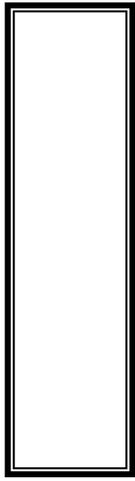
終了後弁護士会館 509号室で報告会

・第2回口頭弁論 東京高裁

H30-6-6(水) 13:30～

(12:50 随傍聴抽選)  
【大阪】●H29-12-22  
最高裁、上告棄却判決【確定】

懐かしい昭和の火がまた一つ消えた。



失礼ながら一筆啓上  
活動資金の件

・会費制とすること (or 購読料)

一年間収めない人は除名

・「J協力のお願い」だけでは限界あり

大阪府松原市 N・J

~~~~~

先ずは涙が出るほどうれしいご意見感謝。しかし貴兄のご意見に沿うことは、申し訳ないができません。先ず「J」の「M情報」ビジネスではありません。運動です。だから、一人でも多くの人に読んでいただきたいのです。それが一番です

「J協力のお願い」だけでは限界あることも重々承知しています。いままで「国民新聞」や「行政新聞」等の新聞が残念にも終焉を迎えました。私は本業が学習塾。印刷機があります。だから自己印刷。経費は紙代と郵便代、それと障害者施設でお願いしている、一通100円の封入作業の作業代。郵便局が早々と値上げを通告してきましたから頭が痛いのですが・・・。行き倒れるまでこのまま走りたいと思います。 増木

### 沖繩闘争最前線

7/26

増木様

以下は、沖縄県政の刷新を求める会の皆さんに送信したものです

特に「しゅんさん」ブログを全国に晒して頂きたいと希望いたします

錦古里拜

刷新の会の皆様

先日、特に参加出来なかった方々に「報告申し上げます

3次にわたり提訴致しました翁長知事国連演説訴訟は、20日の口頭弁論にて最終の準備書面を提出しこれをもって結審となりました。  
\*判決は、11月9日 13時10分です  
判決後の記者会見と報告会を準備するごに致します

尚、最終の準備書面は屋比久氏が後日手にとってアップ致しますので、一読下さい  
主な主張は、以下のチャンネル桜沖縄の声 特番をご覧ください  
<https://www.youtube.com/watch?v=MQx55bq9bo&feature=youtu.be>

県警検問訴訟断念事件 第1回口頭弁論は、県側の反論が提出されずに単に私共に提訴の要件が無いという一文を書いて提出されてました  
よって、十分に戦える裁判(勝訴の確率が高い)と思われま

以下の県警検問を訴え一番で慰謝料を勝ち得た三宅弁護士ブログをご覧ください

こんな資料を公開する弁護士は、日本  
広しと言えど、このしゅんさん以外に  
おりません

ニユース女子の司会 長谷川氏にも提  
供してあげたいほです (幸 淑玉が  
民事を提訴するとの事)

<http://shunji.ti-da.net/e10273780.html>

皆様の容量に余裕があれば、保存して  
置いて頂けますでしょうか？

また、全国の保守派に拡散して頂き  
たいと思います

(私も保存しました)

次回、第2回の口頭弁論は、未定です  
その前に9月17日に県警検問控訴断  
念訴訟の 進行協議を16時から行う  
事になりました

これは、裁判所と原告・被告双方の弁  
護士により行われます

これにより、第2回目の口頭弁論が決  
まることと思います

\*注意しなければならないことは、被  
告側が弁論準備を求めている事です  
これは、当事者と弁護士以外は参加出  
来ないため、密室で行われる裁判と言  
つてよく、

大半が被告側に有利な判決となります。

裁判所も公にしたくないと望む行政訴  
訟に多く使われる方法です

\*徳永弁護士は、今回の法廷でも弁論準  
備を拒否しております。

皆様 この裁判を全国に拡散し、裁判  
所が有耶無耶にして、逃げない様に

国民の関心を呼び込んで下さ  
い

宜しくお願い致します。

## 編集後記

百人の会の理事会が、通算第百回を迎

## 徳永日本学研究所

<http://www.ncn-t.net/>

[kunikostok/5-4-gaikoku](http://kunikostok/5-4-gaikoku)

[kokka-.htm](http://kokka-.htm)

次は六ヶ国の国歌の歌  
詞を翻訳したものです。

日本国の国歌以外は  
「血生臭い」ものばか  
りです。歌詞には品格  
も格調も無い戦闘を鼓  
舞するものばかりです。

「ロシア



「鍛えられし わが  
つわもの 攻めくる

## “血生臭い 「外国・国 歌の歌詞”

敵 討ち破り 断乎

と守る 尊き国わが

祖国に栄あれ。栄光

の民よ 自由の祖国

結ばれしその誉れ

旗のかけで 導けよ

勝利の為 進めよ

や」

せ、敵にあたらん、

進め、敵にあたらん。

進め、進め、進めよ

や」

いざ矛とれ 進め進

め仇なす敵を葬ら

ん」

「おお激戦の後に

暁の光に照らし出さ

れた星条旗が見える

か 夜どおし砲弾が

飛びかった後に、わ

れらの星条旗が翻っ

ている。自由な祖国、

勇敢な家庭 星条旗

をふれ 星条旗をふ

れ 戦闘がやんで微

風が吹く中に 濃い

朝霧の中 見え隠れ

しているものは何か

これこそわれらが星

条旗 神よ！星条旗

2. 中国



「立て、奴隷となる

な、血と肉もて、築

かんよき国。立て！

立て！立て！心あわ

3. フランス



「ゆけ祖国の国民

時こそ至れり正義の

われらに。旗はひる

がえる 旗はひるが

える 聞かずや野に

山に 敵の呼ぶを悪

魔の如く 敵は血に

飢えたり。立て国民

4. イギリス



「おお神よ 我らが

神よ 敵をけ散らし

降伏させ給え 悪ら

つな政策と奸計を破

らせ給え 神こそ我

らが望み 国民を守

らせ給え」

5. アメリカ



をふり続け給え 自由の祖国勇敢な家庭の上に」

だと痛感されるでしょう。

日本の国歌の歌詞の、

なんと平和でおおらかな この歌詞は、今から

血とか肉とか敵と戦

約1000年前、醍醐天

えとか、血に飢えた敵

晴らしいか、歴然と違 皇が紀貫之に命じて編

とか、実に品位も無く

うではありませんか。 集させた日本最古の歌

の日本



「君が代は 千代に

戦闘的なものばかりの

オマケに、君が代の

八千代にさざれ石の

烈しいものです。

歌曲は実はドイツで世

いはほとなりて、苔

こういう国家の方針

界の国歌の評価判定会

七、賀歌の部の第343番、読み人知らずとしてあります。

のむすまで」。

の下にこれらの国民は

があった時に、君が代

私は外国・国歌の歌

国家に忠誠を捧げてお

はその第一の秀歌に選

詞に興味があり長い

り、戦闘を薦められて

定されました。明治に

やちよに、さざれいしの いはほとなりて、

間求め続けていまし

いる。これでは戦争が

旋律を取り入れて現在

こけのむすまで」がル

た。みんな、血なま

絶えませんね。

の曲としたものです。

ーツです。

臭く勇ましい軍歌調

長寿を祈り願う祝い  
歌として人々に広く愛  
唱されていったものの  
ようです。

上から強制して歌わ

れたものではないので

す。しかも、無名の民

の歌です。わが君とは

あなたの事で敬愛を込

めた言葉です。君は広

く対者を言います。

万葉時代、そして現

在も皇居では毎年歌会

はじめがあり、老若男

女、地位名誉に無関係

に歌を募集し、入選者

は皇室に呼ばれる歌会

がありますね、こんな

庶民的な皇室は世界に

ありますまい。

こんな素晴らしい日

本の国歌は世界に誇り

うるもので先祖の英知

に感謝しなくてはいけ

ません。

君が代を軍国主義な

どという人間はどうか

しています。外国国歌

の歌詞を知らない無知

極まりない愚かな人達

だといえます。

誇りを以って堂々と

声高らかに歌っている

日本の国歌であります。は同様ですが、ご披露

します。

ついでに言いたいのは、

**誕生日の歌**です。

英語国民でもないの

に、英語で歌うハッピ

ーバースデイの歌です

ね、なぜ英語で祝わな

くてはならないのです

か、ここは日本国です

よ。

藤山一郎先生作詞の

素晴らしい日本の誕生

歌詞があるのです。曲

します。

ここは日本です、大

いにこの素晴らしい日

本の誕生日の歌を歌っ

て欲しいものです。

「祝えや いざ 君

の誕生日 いついつま

でも健やかなれ」であります。

英語の歌よりしみじみとした友愛の感情が伝わってくるではありませんか。

日本人の欧米かぶれはもう完全に卒業しなくてははいけないと思います。

徳永日本学

研究所 代表 徳永圀

典

救う会大阪

どんな小さな情報でもお寄せ下さい。  
事務局

日曜日の小学校。。。今日(25日)の16時30分頃のことやけど、  
大阪市立瓜破西小学校 裏門が全開  
職員室の電気がついてるから学校に電話したんやけど●  
誰も電話に出やし◎◎◎◎

いくら生徒が居てない日曜やとても。。。●  
裏門全開はさすがにあかんやろ(；；；)

誰かが学校に入り込んだらどうする  
つもり。  
セコムに入っているから大丈夫。って事  
〜c.c.c.  
春休み中やけ。。  
明日は普通に『ききりき教室』がある  
から、登校してやる生徒居るやん  
△▽

ほんま。。。  
危機管理能力無むすぢやわ(ー。ー)井

From: 惠隆之介  
Sent: Monday, February 26, 2018 9:42  
PM

To: [minkiclub-zenkoku@freeml.com](mailto:minkiclub-zenkoku@freeml.com)  
Subject:  
[minkiclub-zenkoku:39058] 226 事  
件から82年、蹶起青年将校を偲ぶ！

=====

各位  
転送します。  
事務局 木上

From: Mike JFK  
[mailto:mikejfk@yahoo.co.jp]  
Sent: Sunday, February 25, 2018  
10:01 AM  
To: mikejfk@yahoo.co.jp  
Subject: 欧州と日本の封建制が近代  
国民国家を作った 伊勢雅臣

■ Japan On the  
Globe(1051) ■ 国際派日本人養成  
講座 ■

地球史探訪：欧州と日本の封建制が  
近代国民国家を作った

欧州と日本で「強い組織的なもの」が  
生まれた。

■ 転送歓迎 ■ H30.02.25 ■ 51,568  
Copies ■ 4,461,270Views ■  
無料購読申込・取消：  
<http://blog.jog-net.jp/>

■ 1. 「パリ日本人村の村長」

仕事でパリに来ている。数週間単位で  
滞在するので、オフィスのある凱旋門か  
ら地下鉄で4、5駅離れたところに家具  
付きのアパートを借りてみた。近くには  
賑やかな商店街があって、カフェやパン  
屋、八百屋、肉屋などが並んでいる。  
驚いたのは日本食レストランの多い  
ことだ。徒歩5分圏内だけで3軒もある。  
パソコンで検索してみたら、パリの約1  
万5千軒のレストランで、「和食」の力  
デコリーに入っているのが763軒も

あった。

一度、昼食にルーブル美術館近くの日  
本食レストランに入ったら、フランス人  
の客だけで満員だった。そこでの一番人  
気は「越前のおおし蕎麦とソースカツ丼  
小どんぶりのセット」だという。蕎麦も  
ソースカツ丼も本格的な味だった。

戦前からパリに遊んだ日本の芸術家  
や文人は多いが、パリでこれほど多くの  
日本食レストランが繁盛し、しかも越前  
蕎麦まで食べられる時代が来るのは、誰  
が予想し得たろう。

そのうちの1人、大正2(1913)年に  
パリに渡った島崎藤村は、河上肇らが彼  
を頼ってやってくる、下宿を探してや  
ったりして世話を焼いた。やがて藤村は  
「パリ日本人村の村長」と呼ばれるよう  
になり、彼らを歌劇や音楽会に連れ出し  
ては、学生街のカルチエ・ラタンで文明  
論に花を咲かせたという。

■ 2. 欧州諸国の持つ「強い組織的なも  
の」

藤村は、上海・香港・シンガポール・  
コロンボ・スエズ運河を経由して約一ヶ  
月の船旅でマルセイユに着いたのだが、  
船中の読書に、幕末に洋行した幕臣、栗  
本勘雲(じょうん)の『暁窓追録(きょう  
そうつうりく)』を持参していた。栗  
本勘雲も同じ航路で横浜からマルセイ  
ユに渡ったのだが、この間に興味深いこ  
とに気がついた。

それは船が港に入るたびに、現地人  
の盗みを防ぐために、船の倉庫に鍵を  
し、船室を閉じ、出入りを厳重にした  
事である。ただ、横浜とマルセイユで  
だけは、船員が船を下りてしまい、戸  
が開けばなしになっていても気に  
も留めない。

なぜ日本とヨーロッパでは盗みが  
なく、その間の各地の港では厳重に戸  
締まりをしなければならぬのか。藤  
村はここから考えた内容を、帰国後、  
『エトランゼエ(異邦人)』との対話』  
と題したエッセイに書いている。

東洋の方で肝心な港々は、大抵今で  
は英吉利(イギリス)のものだね。(中  
略)最初の欧羅巴(ヨーロッパ)の航  
海者なんてものは必ずしも他の国を  
奪るつもりではなかったんだね。唯、  
奴らは強いものを一緒に持って行っ  
たんだね。実際欧羅巴の方へ行って見  
ると、強い組織的なものがあるから  
ね。

左様(そう)いう強いものが押込んで  
行くと、組織的でないような弱いもの  
は否でも応でも敗けてしまふ。だから  
ケエブ・タウンでも、ダアバンでも、  
コロンボでも、新嘉堡(シンガポール)  
でも、結局強いものが支配するよう  
になつちまふ。そいつが僕らの国の方  
まて延びて来たんだね。[1, p126]

欧州諸国は何か「強い組織的なも  
の」を持っていた。そして、それを持  
っていないアジアの国々は次々

と植民地にされた。それが日本に延びて来た時にどうなったのか。

■3. 「阿爺(おやじ)の時代の人たちが頑張っていてくれた御陰だ」

この点を藤村は「故国に帰りて」の中で次のように記している。

幸いしてわが長崎は新嘉堡たることを免れたのだ。それを私は天佑の保全とのみ考えたくない。歴史的の運命の力にのみ帰したくない。その理由を辿って見ると種々なことがあるうけれども、私はその主なるものとしてわが国が封建制度の下にあったことを考えてみたい。実際わが国の今日あるは封建制度の賜物であるとも言いたい。[1, p131]

藤村にとつて、封建制度とは抽象的な概念ではなかった。藤村の父は木曾馬込の大庄屋の家に生まれ、伊那谷に多い平田派国学の門徒となり、尊皇攘夷運動を経て地方の小神社の神職となった。維新後は、明治天皇に直訴したり、廃仏毀釈の中で郷里の寺院に放火しようとしたりして、ついには座敷牢に幽閉されて、窮死した。

遠い外国の旅に出て来て見ると、子供の時に別れた阿爺(おやじ)のことなぞがしきりと恋しくなる。僕らが今日あるのも、彼様(ああ)して阿爺の

時代の人たちが頑張っていてくれた御陰だ、印度あたりのように外来の勢力に敗けてしまわなかった御陰だ、左様思うと僕はあの頑固な可長しい阿爺に感謝するような心持を有って来た。

多少なりとも僕らが近代の精神に触れ得るといふのは、あの阿爺たち強いものがあつたからだ。[1, p134]

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。「強い組織的なもの」とは、藤村にとつて父親の思い出につながる体験的なものだった。

#### ■4. 欧米に広まった日本観

ヨーロッパと日本が並行して封建制を経験し、しかも、この二つの地域で近代化が先行した事から、封建制が近代化の基盤となっているのではないか、という考え方は、藤村以前からあった。

今谷明・都留文科大学学長の『封建制の文明史観』[1]によると、日本社会の封建制を指摘した最初の西洋人は、文政6(1823)年、明治維新の45年前に来日して、ドイツ人ながらオランダ人と偽って長崎・出島のオランダ商館医となったシーボルトだといふ。

多くの大名が半独立的に各藩を治めている徳川の幕藩体制が、同時代のドイツの諸侯が分立していた状況と良く似ている点を、シーボルトは見とったのだらう。

医師・植物学者であったシーボルトは、学問的にこの観察を深めはしなかったが、帰国後に出版した大著『日本』により欧州での日本学の祖と見なされるようになり、日本が封建制の国だという認識は、以後、多くの訪日外国人に受け入れられていった。

学問的見地から日本が欧州に比較しうる封建制を備えていたという研究は、日本の経済学の草分けと言われる福田徳三によってなされた。福田は明治31(1898)年にドイツに留学し、ドイツ歴史学派の経済学者ルヨ・ブレンターノに師事した。

ブレンターノは欧州経済史の講義で、後方の席で度の強い眼鏡をかけた福田が微笑しているのを見つけ、授業後、なぜ笑っているのかを問うと、福田は「先生が講義される欧州の経済史が、余りに私の祖国日本の歴史に似ておりますので、ははあ、成程」と納得し、会心の笑みを漏らしたので」と答えた。

「そんなに日本の経済史が西欧に似ているというなら、君がいっせ、日本経済史を書いてみないかとブレンターノに勧められ、その助力を得ながら、ドイツ語で日本経済史の本を書き上げた。この本は西欧の学者に広く読まれ、日本が西欧に類似した封建制を持った国であるとの日本観は、欧米人の間でも広まった。

■5. モンゴル軍がなぜ日本と西洋で勝てなかったのか

なぜ封建制が「強い組織的なもの」を生むのか。封建制は欧州では騎士、日本では武士という「武人」が中心的な役割を果たすから軍事的に強いという説もあるだろうが、シナの各王朝も戦乱の中で軍事力でのし上がり、天下をとった。だから軍事力の存在だけでは説明できない。

日本の武士と、シナの皇帝に事える武人とを考えて見れば、その違いがはつきりするだろう。たとえば、日本の武士は主君から所領を与えられ、そこを子孫のために命を懸けて守る「一所懸命」の精神を持つ。

これがシナ皇帝に雇われている武人ならどうだろうか。別にその王朝が減んでも、次の王朝にさえれば、自分の身は安泰である。日本の武士とシナの武人の違いは、自分の事業にすべてをかける中小企業のオーナーと、大企業のサラリーマンの違いと考えれば、分かりやすいだろう。

現実にはモンゴルの大帝国はユーラシア大陸の中心部から東は日本、西はヨーロッパにまで攻め込んだ。しかし、日本では鎌倉武士団に敗れ、欧州ではドイツ騎士団に敗れた。

元寇は神風に敗れたというのが一般の先入観だが、史実は異なる。鎌倉武士たちの抵抗によって、元軍は2ヶ月も上陸を阻止され、海上にさまよっている間に、台風に襲われたのである。台風が来なくとも、補給のない元軍は

引き揚げるしかなかった。[a]

西に向かったモンゴル軍はキエフ公国、ポーランド、ハンガリーを蹂躪し、ドイツの諸城に襲いかかった所で、第2代モンゴル帝国皇帝オコタイの計報に接して引き揚げたと言われるが、これも史実ではない。モンゴル軍がドイツ軍との戦いから引き揚げたのは、計報を聞く数ヶ月も前であった。

実際は、城壁都市に立てこもって頑強に抵抗するドイツ騎士団を打ち破れず、諦めて撤退したのである。これもドイツ騎士団の「一所懸命」に敗れたと言える。

一所懸命の精神で、自分の愛する郷土と、ひいては祖国を命をかけて守ろうとする武人と、富のために戦う武人と、どちらが強いかは言うまでもないであろう。

■6. 封建制が法治による近代国民国家の基盤を作った

武人の所領が主君から与えられるということは、こうした強さ以外に、社会の発展を生み出した。それは所領を預かる代わりに、いざという時に生命を掛けて戦う、という相互の信頼に基づいた契約関係を発展させた。

契約である以上、主君が勝手に家来の所領を取り上げる事は許されない。ここから「権利」という概念が生ずる。同時に、家来の方も戦になって命惜し

さに逃げ出すなどという事は許されない。これが「義務」の概念を生み出す。この義務をいかに見事に果たすか、という所から、武士道や騎士道が生まれた。

「契約」、「権利」、「義務」などは近代社会を成立させている基本的な概念である。これらの概念を尊重する風潮が統治者にも国民の側にもなければ、近代社会は成り立たない。

一方、皇帝による独裁国家では、皇帝は勝手に家来の財産を取り上げる事ができるし、臣下は危なくなったら、敵方に寝返ったりする。シナ大陸や朝鮮半島で現在でも契約や条約、さらには人権や義務を尊重する気風が薄いのは、封建社会を経験していないからであろう。

さらに封建社会では、隣人との間で境界争いなどが生じた場合は、契約関係をもとに、どちらが正しいかを道理をもって議論することになる。ここから裁判制度が発達する。たとえば鎌倉幕府の第3代執権・北条泰時が中心となって整理し、成文化した『関東御成敗式目』の末尾には、この法体系の基本理念としての「道理」を明白に掲げている。[a]

およそ評定の間、是非に於いては親疎あるべからず、好悪あるべからず。ただ道理の推すところ、心中の存知、傍輩を憚(はば)か(ら)ず、権門を恐れず、詞(ことば)を出すべきなきなり。

(裁判の場にあつては決して依怙(いご)偏(へん)重(じゆう)の場にあつては決して依怙(いご)偏(へん)重(じゆう)なきなり、専ら道理に基づいて)

て、傍の目、上なる権力者の意嚮(いこう)を恐れることなく信する所を言(こと)う)を恐れることなく信する所を言(こと)う)を恐れることなく信する所を言(こと)う)

これは建前だけでなく、実際の裁判でも、一方が自分の主張のおかしい事に気がついて「これは当方の負けなり」と認めた態度を、泰時が涙ぐみながら褒めた事例も記録されている。物事の道理を「法」として書き表し、争い事も法と道理に照らして、どちらが正しいかを判断する。これが「法治国家」の基盤である。

一方、皇帝による独裁社会では、臣下の争いはどちらが皇帝に好かれるか、という事で決まってしまう。そこに発達するのは皇帝へのおべっか争いと互いの足の引っ張り合いである。

封建制は法治による自由な社会の基盤を作った。そして国民の自由な活動が、経済的発展を生み出した。こうして近代国民国家という「強い組織的なもの」が生まれた。封建制を経験した西欧と日本が近代国民国家として発展したのは、当然の現象なのである。

■7. 内外からの浸食から、いかに国民国家を守るか

島崎藤村が「強い組織的なもの」と感じとつたのは、権利、義務、契約、法を尊重し、それによって国民どうしが互いに助け合う共同体として発展してきた近代国民国家の姿だったのだろう。

しかし、この「強い組織的なもの」が、

あたかも自然現象のように勝手に生まれたと考えるべきではない。それは何代にもわたる先人の努力の積み重ねによって発展してきたものである。たとえば、前節に紹介した北条泰時が「道理による政治」を追求した努力がその一例である。

とすれば、先人の遺してくれた「強い組織的なもの」に対して、藤村のように、「僕らが今日あるのも、彼様(ああ)として阿爺(あや)の時代の人たちが頑張っていてくれた御陰(かげ)だ」と感謝の心をもって、思い起こすべきだろう。しかし、この「強い組織的なもの」は、現在の我々が努力して守っていないと風化していつてしまう。特に現在、シナや北朝鮮、韓国など、封建制を経験せず、したがって条約も国際法も人権も理解しない前近代国家が外からの脅威を与えている。

同時に、内からはこれまた法治や近代的自由の概念を持たない左翼勢力が、教育や報道、政治をねじ曲げて、国民国家を浸食しつつある。こうした内外からの浸食から、わが国の法治主義と自由民主主義を守って、我々も子孫から「阿爺(あや)の時代の人たちが頑張っていてくれた御陰(かげ)だ」と言われるよう、頑張らねばならない。

(文責 伊勢雅臣)

=====

池田 正樹

mikejfk@shore.ocn.ne.jp [PC]  
mikejfk@yahoo.co.jp [PC]  
mikejfk11@yahoo.ne.jp [Mobile]  
mikejfk1@gmail.com  
070-1516-1199

=====

=====

=====

=====

=====

みや子ちゃんFB

H32-3/1投稿

昔話の『桃太郎』。。。昔の朝鮮時代の皇子の実話を元に作られた話して何？そんな話し今まで私。。。

聞いた事ないし●●●桃太郎は！

おじいさんが山へ芝刈りに〜⑤

おばあさんが川へ洗濯に行く〜っていうおとぎ話やろ？日本の色んな地方で諸説が色々あるにしても。。。●

公立の小学校で。。。

いくら諸説の一つであったとしても

『朝鮮の実話を元に〜』って話したらあかんくない？？？学校から帰って来た三男が。。。

『桃太郎って朝鮮の皇子の話』が元なやつって。知ってた。』

し。。。((・・・))そんなん知らんし、聞いた事ないわーM(「口」)福山真司皇族は朝鮮半島が由来みたいだよ 福山真司 北朝鮮の拉致母

血を薄めるのが目的⑤福山真司金ちやんの妹さんは日本人とのハーフじゃないかな？ 山本公一岡山市のホームページから

<http://www.city.okayama.jp/museum/nomo/movie/index.html> 朝鮮半

桃太郎と温羅 (1/1) 伝説 Misako

Yoshimi さん。。。

学校で話された内容は、岡山の温羅伝説と所々似てはいるんですが、違うんです。きちんとした諸説がある温羅伝説をそのまま子供達に話してつづけたらよかったです。●

教科書に載っているわけでもなくて、岡山の方が話されたわけでもなくて。。。

● 山本公一 温羅の居城とされた「鬼ノ城」は朝鮮式山城(現在復元されて岡山の観光地)になっている温羅が朝鮮人であったことは間違いない

。岡山を中心に勢力を有していた朝鮮一族を、侵略者成敗という大義名分で大和朝廷が攻めたこと推定される。 Misako Yoshimi 山本さん(\*~\*)こんばんは

⑤

ありがとうございます。岡山に温羅伝説があるのは、この件をきっかけに調べて知りました。

日本中に桃太郎にまつわる諸説が沢山あるのもわかっただけですが。。。

昔話の桃太郎は『悪い事をしたら成敗される。だから悪い事はしたらダメです。』って意味のおとぎ話じゃあ。

親としたり、桃太郎は子供を育てていく中で『悪い事はダメ』って教える為の大切な昔話。

子供が大きくなって、桃太郎の由来を知りたくなったら自分で調べれば良いんですが。。。

今回子供達がこの諸説だけを信用してしまつのはどうかと。。。みや子さん一回ある韓国、朝鮮の民族授業なんです。学校に1人で申し入れしようかと思っただけです。

資料、何にもない。

民族授業で、学校に在日の方が来て子供達に話した内容です。

いつもはチマチヨゴリを着た女性韓国、朝鮮の遊びや音楽を教えたり。。。

今年は韓国、朝鮮の物語？ってテーマ？民族授業があるのは、はるから聞いてたんですが。

まさかの物語？。。。

帰ってくるなり『いや顔』で知ってる？

知らんやろ？』って

『そんな話知らんわー聞いたこともない！』って答えたんです。

翌日、他のお子さんに聞いたんですが。

みんな信用してたとかで。

ネットで調べたら『温羅伝説』なるものが出てきたんですが、内容がちよっと違う？

岡山の方が来て説明されるのならわかるんですが。

=====